

教育に関する事務の点検・評価報告書

(平成26年度実績)

平成27年12月
富田林市教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』こととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成26年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市民の皆様公表することにより、さまざまなご意見をいただき、次年度以降の施策や事業に反映させ、今後の事務改善に活かすよう努めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

富田林市教育委員会

《参 考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

《目 次》

1. 教育委員会の活動概況	1
2. 学校教育	4
(1) 幼児教育・学校教育の充実	4
(2) 健やかで豊かな人間性を育む教育	6
(3) 学校力の向上	8
(4) 学校給食の推進	9
(5) 施設等の整備	12
3. 生涯学習	14
(1) 生涯学習の推進	14
①生涯学習・社会教育事業	14
②青少年対策事業	16
③市民文化の振興	19
④図書館活動	21
⑤公民館活動	24
(2) スポーツ振興	26
(3) 文化財の保存と活用	28
(4) 施設等の整備	30
4. 学識経験者等の意見	33
5. 資料編	39

《資料編目次》

1. 教育委員会所管施設	39・40
2. 富田林市の人口推移	41
3. 年度別児童生徒・園児数の推移	42
4. 幼稚園就園奨励費、園児補助金	43
5. 就学援助	43
6. 奨学金	43
7. 全国学力・学習状況	43・44
8. 小学校、中学校の不登校の状況	44
9. スクールカウンセラーの相談件数	44
10. 教育農園活用（栽培活動実施）状況	44
11. 中学校給食喫食率の推移	45
12. 小学校給食実施状況	45
13. 耐震化の状況（小中学校）	46
14. 耐震化の状況（幼稚園）	47
15. すばるホール施設利用状況	48
16. 福祉青少年センター利用状況	48
17. 放課後子ども教室参加状況	49
18. 出前講座開催状況	49
19. 成人式参加状況	50
20. 市民文化祭参加状況	51
21. 図書館利用状況	52
22. 公民館利用状況等	53・54
23. スポーツ施設利用状況	55
24. スポーツ事業参加状況	56
25. 杉山家住宅等入館者推移	57
26. 寺内町地区の修理・修景実績推移	57
27. 市内の文化財	57

【1. 教育委員会の活動概況】

(1) 教育委員会の構成 (平成27年3月31日現在)

職名	氏名
委員長	阪井 千鶴子
委員長職務代理者	益田 耕吉
委員	仲野 務
委員	山元 直美
教育長	堂山 博也

(2) 教育委員会会議等

区分	日程	付議案件等
委員研修	4月 3日	市町村教育委員会委員長・教育長会議
4月定例会	4月23日	富田林市小学校給食会理事の委嘱・任命について(他7件)
委員研修	5月16日	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会(アウィーナ大阪)
5月定例会	5月29日	「余裕教室活用指針」の策定について(他10件)
6月定例会	6月26日	富田林市中学校給食会理事の委嘱・任命について(他12件)
7月定例会	7月31日	平成27年度使用 教科用図書の採択について(他2件)
8月定例会	8月27日	富田林市伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について(他4件)
9月定例会	9月25日	平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について(他5件)
10月定例会	10月30日	教育に関する事務の点検・評価報告書(案)について(他5件)
委員研修	11月 5日	大阪府市町村教育委員研修会(アウィーナ大阪)
委員研修	11月 6日	富田林市教育委員 管外研修(神戸市北野町)
11月定例会	11月27日	平成26年度富田林市一般会計補正予算(案)について(他6件)
12月定例会	12月25日	平成27年度全国学力・学習状況調査について(他4件)
委員研修	1月15日	大阪府都市教育委員会委員長研修会(アウィーナ大阪)
委員研修	1月29日	第一中学校 授業視察(英語・社会・数学)
1月定例会	1月29日	富田林市いじめ問題対策委員会委員の委嘱・任命について(他3件)
委員研修	2月 5日	南河内地区市町村教育委員研修会(狭山池博物館)

2月定例会	2月26日	富田林市民プール条例施行規則の制定について（他10件）
3月定例会	3月26日	富田林市教育委員会教育長の勤務時間その他勤務条件に関する規則の制定について（他8件）

（3）その他の主な行事・会議

開催月	行事・会議名
平成26年 4月	幼稚園・小学校・中学校 入園・入学式
	教育方針説明会
	小学校給食会理事会
	こども会育成連絡協議会総会
	野外活動協会総会
	公民館クラブ連絡会総会
	少年スポーツ連盟総会
	レクリエーション協会総会
5月	体育協会総会
	青少年指導員連絡協議会総会
	中学校給食会理事会
	P T A連絡協議会総会
	市民体育大会開会
	ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク
	富田林寺内町をまもり・そだてる会総会
	文化振興基金審査委員会
市教育研究会・市人権教育研究会総会	
6月	生徒指導シンポジウム
	石上露子生誕祭
	学校安全確保の日
	小学校運動会
7月	富田林市立学校給食センター運営委員会
	奨学金審査会
	富田林ドリームフェスティバル
	市教育講演会
	放課後子ども教室運営委員会
	社会教育委員会議
	図書館協議会

7月	公民館運営審議会
	東公民館納涼の夕べ
8月	リーダーシップ研修
	学校プール開放
	じないまち燈路
9月	市民スポーツ・レクリエーション祭
	中学校体育大会
	少年サッカー大会
	寺内町 月見の会
10月	幼稚園運動会
	中学校給食の日
	体育の日記念事業
11月	公民館まつり
	富田林幼稚園100周年記念式典
	寺内町フェスティバル
	関西文化の日
	連合音楽会
	連合運動会
	こども作品展表彰式
	富田林市子ども読書活動推進会議
12月	教育研究集会
	市民マラソン大会
1月	成人式「はたちのつどい」
	富田林市PTA大会
2月	とっぴーと読もう 読書感想文コンクール表彰式
	南大阪駅伝競走大会
	雪あそびファミリーツアー
	図書館協議会
3月	伝統的建造物群保存審議会
	じないまち雛めぐり
	幼稚園・小学校・中学校 卒園・卒業式
	美術協会展・表彰
	公民館運営審議会
	社会教育委員会議
	文化振興基金審査委員会

【2. 学校教育（1）幼児教育・学校教育の充実】

1. 施策・事業の概要

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成
- (2) 明るく楽しい学校園づくり

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成について

全幼稚園で園内研究保育等を行い「きめ細かな一人一人の育ちを促す保育」を実施した。また、小学校1、2年生と6年生や、中学校3年生を中心とした少人数学級編制や、少人数加配を活用した少人数・習熟度別指導、あるいは、ALTの配置による英語教育・外国語活動の推進を図り、きめ細かな指導の充実とグローバル人材の育成に努めた。更には、「教育カウンセラー」を配置し、児童・生徒及び保護者からの相談の対応等と経験年数の浅い教員等の指導力向上に取り組み、確かな学力の育成を進めた。

- (2) 明るく楽しい学校園づくりについて

全校園で定期的に「悩みの相談アンケート」、「個別カウンセリング」等を実施し、いじめ等の問題行動事象の未然予防と早期発見・早期解決のための体制構築、関係機関との連携を図った。また、長期欠席及び不登校傾向にある子どもの状況の把握や改善のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用に取り組んだ。

【資料編44ページ参照】

3. 点検結果・評価

- (1) 市教委主催や各校園で、各種研修会を実施し、子ども一人一人の育ちを促す指導を推進することができた。幼稚園講師の活用や市単費講師の雇用、ALTの派遣により、少人数学級編制や少人数・習熟度別指導、英語教育・外国語活動を更に充実させることができ、きめ細かな指導を推進することができた。
- (2) いじめ等の事象について、各校で早期発見・対応ができた。また、長期欠席及び不登校傾向にある児童・生徒は、各校で未然予防策も含め積極的に取り組み、昨年度に比べ中学校において不登校生徒数は6名減少した。しかしながら、小学校での不登校児童数は13名増加した。

4. 課題・方向性

- ・一人一人の育ちを促す指導の実践・推進のため、今後さらに各種研修会を充実させるよう計画・実施していく。

- 今後も少人数学級編制や少人数・習熟度別指導を充実させ、きめ細かな指導を進める。
- 不登校及びいじめ等問題事象の未然予防、早期発見・対応・解決が行えるよう、スクールソーシャルワーカー等を活用した組織的な対応を学校や市全体で進める。

【 2. 学校教育 （2）健やかで豊かな人間性を育む教育 】

1. 施策・事業の概要

- (1) 人権尊重の教育の推進
- (2) 支援教育の推進
- (3) 人間性を育む教育の推進

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1) 人権尊重の教育については、「同和教育基本方針」、「人権教育基本方針」、「人権教育推進プラン」に基づき、総合的な人権教育を推進した。また、各種研究会等と連携して、人権教育を担う次世代の育成を行った。
- (2) 支援教育については、積極的に巡回相談を実施し、保護者や学校に対して、支援の在り方や指導方法についての助言を行った。また、自閉症や発達障がい等、さまざまな障がいについての理解と支援に関して、教職員を対象に研修会を開催し、教職員の指導力向上と校内体制づくりを図るための支援を行った。
- (3) 保護者や関係機関が連携して支援を行うためのツールとしてつくられた「つながるファイル」を本格的に運用した。さらに、「つながるファイル」の活用について、本市関係各課で協働して取り組み、支援機関向けの説明会を開催した。
- (4) 生活科や総合的な学習の時間等において、「地域清掃ボランティア活動」、「多文化交流体験」、「福祉体験」など、様々な体験学習を重視するとともに、「道徳教育」や「性（生）に関する教育」等に外部講師を招聘するなど、工夫して取り組んだ。

3. 点検結果・評価

- (1) 人権教育については、市教委主催の数回の研修や、各研究団体と連携した研修により、すべての小・中学校で人権教育のカリキュラムを作成し、総合的な人権教育を実施できた。
- (2) 支援教育については、市として120回をこえる巡回相談を実施し、「個別の教育支援計画」の作成・運用をさらにすすめることができた。また、市教委主催の研修等を通して、自閉症や発達障がい等、さまざまな障がいへの理解を深め、その理念である「ともに学び、ともに育つ」教育を推進できた。
- (3) 「つながるファイル」を年間で240冊余り発行した。また、これらを活用した、保護者や関係機関との連携が進んだ。

(4) すべての学校で、さまざまな体験学習、「道德教育」、「性（生）に関する教育」等を実施し、健やかに豊かな人間性を育むことができた。

4. 課題・方向性

- 人権教育や支援教育について、教職員研修をはじめ保護者への理解と啓発を今後も進め、一層の充実を図る。
- 「つながるファイル」の活用について、保護者向けの説明会の開催と内容の充実を図る。
- 今後も各校の実状に応じて、体験活動による豊かな心の醸成を図る。

【2. 学校教育 (3) 学校力の向上】

1. 施策・事業の概要

- (1) 教員の指導力向上、学校力の向上
- (2) 地域に開かれた学校づくり

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1) 教師の指導力向上、学校力の向上

①市教委主催による「教員全体研修（2講座、590名参加）」や今日的な教育課題に即した「課題別研修（28講座、延べ1030名参加）」を実施した。また、各校においては、それぞれの教育課題に応じた研修会を実施し、学校力の向上に取り組んだ。

②全国学力・学習状況調査等の結果分析から、児童生徒の学力面、生活習慣面での課題や、学校全体で取り組むべき具体的な改善方を明らかにした。【資料編43・44ページ参照】

【富田林市ウェブサイト・各課のページ・教育指導室に掲載】

- (2) 地域に開かれた学校づくり（学校教育自己診断と学校協議会の運営）

①全学校園で学校園教育自己診断を実施し、分析結果については学校通信や保護者会等で公表した。また、全小中学校幼稚園で学校園協議会を運営し、課題や提言内容を全教職員で共有し、その改善を進めた。

②中学校区を単位として、地域教育協議会（すこやかネット）の活動を進め、教育コミュニティづくりに取り組んだ。

3. 点検結果・評価

- (1) 全体研修には幼・小・中全教職員の85%が参加するとともに、課題別研修にも全員が複数回の参加により、教職員として的人格形成と使命感、責任感の一層の涵養と、社会の変化に伴う多様な教育課題の解決に向け、教職員の資質向上につながった。

また、富田林市学力向上プロジェクトを組織し、全小・中学校での具体的な実践につながった。

- (2) すべての学校園で、学校園教育活動等の成果を「学校園教育自己診断」や年に複数回実施する「学校園協議会」で検証でき、開かれた学校園づくりを確実に推進することができた。

4. 課題・方向性

- ・学校力向上のため、研修による教職員の資質の一層の向上や、課題の解決に向けた取り組みを進める。
- ・今後も地域の協力のもと、開かれた学校園づくりへの取り組みを進める。

【2. 学校教育 （4）学校給食の推進 】

1. 施策・事業の概要

（1）小学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③給食費の徴収管理業務
- ④学校給食センター建て替えに伴う基本構想の策定と整備基本計画の検討

（2）中学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③「給食の日」を始めとした喫食率向上に向けた取り組みの実施

2. 平成26年度の取り組み状況

（1）小学校給食【資料編45ページ参照】

①・学校給食の実施状況

小学校数：16校 対象児童数：5,749人 実施日数：185日

・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市小学校給食衛生管理基準の周知・徹底や調理備品の更新、施設の修繕を行った。

②学校給食の効果的・効率的な運営

調理運営業務を富田林学校給食㈱に委託するとともに、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市小学校給食会において行った。

③小学校給食費の督促や催告等、徴収管理業務を「富田林市債権管理マニュアル」に基づき取り組んだ。

④学校給食センター建て替え検討会議において検討を重ね、基本構想の策定を行った。また、新学校給食センターの整備基本計画策定のための施設・設備の基本的な内容の検討を行った。

（2）中学校給食【資料編45ページ参照】

①・学校給食の実施状況

市内全中学校において自校式による給食を実施した。

中学校数:8校 対象生徒数:3,308人 実施日数(最大):168日

・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市中学校給食衛生管理基準の周知・徹底を行った。特に学期のはじめに調理従事者を集めて「衛生管理講習会」を開催した。

②学校給食の効果的・効率的な運営

調理業務を各校とも民間に委託する一方で、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市中学校給食会において行った。

③喫食率向上に向けた取り組み状況

献立表の紙面を大きくし見やすくするとともに、希望者にはご飯の大盛りを提供を行った。更に、全校生徒で食べる「給食の日」等にも取り組むとともに、中学校入学予定者に対する4月申込受付を小学校の協力を得て、事前に行った。

3. 点検結果・評価

(1) 小学校給食

- ①衛生管理基準及びドライ運用作業手順の徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。また、献立に地元の野菜を積極的に取り入れることで、地産地消に貢献することができた。
- ②調理運営を富田林学校給食(株)へ委託、また、一部事務を富田林市小学校給食会において行ったことで効果的・効率的な運営を行うことができた。
- ③給食費を公会計化し、徴収管理業務を行うことにより、公平性・透明性を確保し、学校現場における事務等の軽減が図れた。
- ④策定した、富田林市新学校給食センター基本構想に基づき、新学校給食センターの施設整備の基本的な内容の検討を行うなど、整備基本計画策定に向けた取り組みを進めることができた。

(2) 中学校給食

- ①衛生管理基準の周知徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。
- ②調理業務を民間業者へ委託、また、一部事務を富田林市中学校給食会において行ったことで、効果的・効率的な運営を行うことができた。

- ③喫食率向上に向けた改善に取り組んだ結果、前年度平均喫食率37.7%から今年度は41.8%に上昇し、27年3月においては45.8%になった。そんな中、8校中、喫食率40%を超える学校が5校、その内、50%を超える学校が4校となった。

4. 課題・方向性

(1) 小学校給食

- ①富田林学校給食(株)の活用により、さらに効果的・効率的な推進を図る。
- ②給食費の徴収管理については、更なる事務の効率化のためシステム等の改良や保護者への啓発、滞納者へのきめ細やかな対応などに向け、今後一層の学校等との密接な連携が必要と考える。
- ③策定された「富田林市新学校給食センター基本構想」に基づき、新学校給食センターの具現化の基礎となる整備基本計画策定に向けた取り組みを進める。

(2) 中学校給食

- ①市内全8中学校で実施して4年が経過し、その間、喫食率は学校間で差はあるものの、徐々に上昇してきたが、一部の学校が目標の50%には達していない。引き続き、喫食率の低い学校に対して個別の検証を行い、食育の理念を踏まえ、更に給食の良さをPRしながら利用促進を図る。
- ②給食を生きた教材として活用して「食育」が推進できるよう、各校の協力を得ながら取り組む。

【2. 学校教育 (5) 施設等の整備】

1. 施策・事業の概要

- (1) 小学校・中学校の耐震補強工事
- (2) 小学校・中学校のトイレ改修工事
- (3) 小学校・中学校のプール塗装改修工事
- (4) 小学校・中学校の受変電設備改修工事
- (5) 小学校・中学校の図書室空調設備整備設計業務・工事
- (6) その他学校施設の営繕工事

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1) 小学校・中学校の耐震補強工事【資料編46ページ参照】
 - ①大伴小学校耐震補強工事（校舎2棟）
 - ②彼方小学校耐震補強工事（校舎2棟）
 - ③高辺台小学校耐震補強工事（校舎1棟）
 - ④第一中学校耐震補強工事（校舎1棟）
- (2) 小学校・中学校のトイレ改修工事
 - ①伏山台小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
 - ②喜志西小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
 - ③金剛中学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
- (3) 小学校・中学校のプール塗装改修工事
 - ①錦郡小学校プール塗装工事
 - ②高辺台小学校プール塗装工事
 - ③葛城中学校プール改修工事
 - ④藤陽中学校プール塗装工事
- (4) 小学校・中学校の受変電設備改修工事
 - ①小学校受変電設備改修工事（富田林・錦郡小学校）
 - ②中学校受変電設備改修工事（金剛中学校）
- (5) 小学校・中学校の図書室空調設備整備設計業務・工事
 - ①小学校図書室の空調設備整備設計業務・工事（全小学校16校）
 - ②中学校図書室の空調設備整備設計業務・工事（全中学校8校）
- (6) その他学校施設の営繕工事
 - ①小学校プール循環浄化設備改修工事（小金台小学校）

- ②小学校便所改修工事（新堂・寺池台小学校）
- ③小学校屋上防水工事（新堂・錦郡・久野喜台小学校）
- ④中学校プール循環浄化設備改修工事（金剛中学校）
- ⑤中学校屋上防水工事（第一中学校）
- ⑥幼稚園プール改修工事（青葉丘・伏山台幼稚園）
- ⑦幼稚園コンセント設備改修工事（富田林・彼方・錦郡幼稚園）

3. 点検結果・評価

- (1) 小学校・中学校の耐震補強工事は校舎6棟の耐震補強について夏季休暇期間を中心に行い、国では平成27年度までに全て完了するようになっているが、本市は平成26年度で、既に平成25年度に耐震化を完了している幼稚園【資料編47ページ参照】も含め、小学校・中学校・幼稚園の耐震化を完了した。
- (2) トイレ改修工事により洋式化・省エネ化を図るとともに、清掃方式を湿式から乾式へ改修し、良好な教育環境の整備を推進できた。
- (3・4) 経年劣化したプール塗装改修工事や受変電設備の安全対策工事を行い、良好な教育環境を確保することができた。
- (5) 図書室空調設備整備工事により、暑さ対策や良好な読書・学習環境の整備を推進できた。
- (6) 学校運営が滞りなく行えるよう、学校からの要望をふまえた営繕工事を行い、学校施設を安全で良好な環境に整備することができた。

4. 課題・方向性

- ・学校施設は児童及び生徒の安全確保と避難所としての機能確保のため、非構造部材の耐震対策に努める。
- ・トイレ改修を継続し、良好な教育環境の整備に努める。
- ・中学校普通教室への空調設備設置により、暑さ対策と共に受験を控える中学生の良好な学習環境の整備に努める。
- ・学校施設の構造体の耐震化は完了したが、校舎や付帯設備などの老朽化対策は十分には進んでおらず、今後、老朽化した学校施設を効果的・効率的に整備していくことが必要である。
- ・非構造部材の耐震化や老朽化の改造等学校施設整備のため、国庫補助金を最大限活用するなど財源の確保に努める。

【3. 生涯学習（1）生涯学習の推進 ①生涯学習・社会教育事業】

1. 施策・事業の概要

- （1）社会教育委員会の開催
- （2）社会教育団体の活動を支援するための事業
- （3）出前講座の実施
- （4）人権教育の推進

2. 平成26年度の取り組み状況

- （1）社会教育委員会については会議を2回開催し、社会教育に関する事業計画や実施についての審議・検討を行った。
- （2）①市PTA連絡協議会へは、PTA活動の資質向上のための研修や研究大会の開催、市内35校園のPTA教室開催等への支援を行った。
②市婦人団体連絡協議会では、婦人の地位向上をはかるための各種研修会等の開催やボランティア活動に対して支援を行った。
③市少年少女合唱団へは、広報活動について支援を行った。
④市PTA連絡協議会及び市少年少女合唱団に対しその活動を支援するため補助金を交付した。補助金について協議・調整を行った。
- （3）出前講座は年間63回開催し、参加者数は2,350人で、「防災」や「健康」、「保育」についての依頼が多く寄せられた。メニューの更新を行った。【資料編49ページ参照】
- （4）人権教育の推進では、人権文化センターで開催した識字教室に対して、講師謝金等の支援を行った。

3. 点検結果・評価

- （1）学校教育、社会教育、家庭教育の各分野の委員から多方面にわたる意見をいただいた。
- （2）各社会教育団体への活動支援を行い、研修会など、様々な事業が開催された。市PTA連絡協議会では、PTA大会で「親学習はあなたの子育てを応援します」をテーマに研修会を実施した。参加者から親学習メニューの有効性を体験出来たとの感想をいただいた。
- （3）出前講座は市民の学習機会の充実を図るとともに、市の施策や状況など市政に関する市民の理解を深めることができた。

(4) 人権教育では、識字教室を人権文化センターで毎週2回開催した。

4. 課題・方向性

- 社会教育委員会議では、効果的な意見交換ができるような工夫を検討する。
- 生涯学習についての基本構想・基本計画（改定版）については、市の上位計画や国の生涯学習施策の動向に合わせてながら、検討する。
- 社会教育団体への補助金交付については、団体補助から事業補助への切替を中心に補助の位置づけについて、協議・調整を行った。協議・調整後補助金対象事業内容や、事業経費が補助に値する事業なのかの、妥当性及び補助金額積算の正確性、提出された領収書が適正なのかについて検証が必要である。
- 出前講座については、講座メニューの定期的な更新が必要である。
- 識字教室については、引き続き予算措置を行うとともに、庁内関係課及び大阪府の識字・日本語学習連絡会議と連携を強める。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ②青少年対策事業】

1. 施策・事業の概要

- (1) 青少年育成と青少年活動を支援するための事業
- (2) こども会の育成及びジュニアリーダー養成講座の開催
- (3) 成人式の開催
- (4) 放課後子ども教室の開催
- (5) 福祉青少年センターの運営
- (6) 「こどもインフォメーション」の発行
- (7) 子ども・若者支援の実施

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1・2) 青少年の健全育成を図るため、小学校区毎に委嘱された青少年指導員の活動を支援した。また、市こども会育成連絡協議会とボーイスカウト、ガールスカウトに補助金を交付した。補助金についての協議・調整を行った。
- (3) 成人式は20歳をむかえた青年を対象に、式典の実施と交流会として「はたちのつどい」を開催した。ポスターの作成、パンフレットの見直し、オープニングセレモニーとして中学生吹奏楽演奏等を実施した。【資料編50ページ参照】
- (4) 放課後子ども教室は、地域社会全体で未来を担う子どもの豊かな成長を育むことを目的に、市内16小学校全てにおいて、放課後や週末に、地域のボランティアの協力を得ながらスポーツ活動や文化活動に取り組んだ。

放課後子ども教室の小学校間のばらつきについては、指導員を他の学校へ派遣したり、取り組み内容について指導員交流会を開催することで、改善を目指した。【資料編49ページ参照】
- (5) 福祉青少年センターでは、青少年に自習室、大会議室、小会議室、多目的室を無料で貸し出しするほか、青少年以外の団体にも貸出を行った。【資料編48ページ参照】
- (6) 子どもを対象に実施される講座・教室・行事・イベント等を掲載した情

報紙である「こどもインフォメーション」を幼稚園・保育園・小学校・中学校の園児及び児童・生徒全員に配布した。

- (7) 子ども・若者の引きこもり等の相談窓口を開設した。相談窓口の周知について、支援機関と協議し、ひきこもりをテーマとしたシンポジウムを開催した。

3. 点検結果・評価

- (1・2) 青少年指導員連絡協議会や、こども会育成連絡協議会などの団体と連携しながら、各種スポーツ大会やジュニアリーダー養成講座、たこあげ大会等、当初計画した事業を実施することで、青少年の健全育成に寄与することができた。
- (3) 成人式は、対象者1,420人に対して、977人の参加があり、出席率は68.8%で、例年より低い出席率であった。
- (4) 放課後子ども教室では、開催回数357回、子ども延べ参加者数13,093人であった。前年比、回数で16回の増、参加者数で278人増であった。
- (5) 青少年センター利用については、今年度総利用件数は1,084件で、前年比41件減となった。
- (6) 「こどもインフォメーション」掲載内容は、主に小学生以下が対象となっているのに対して、配布対象に中学生が含まれている。掲載内容及び配布先の精査が必要である。
- (7) 子ども・若者相談窓口は3年目となった。相談件数は、25年度は5件だったが、26年度は15件であった。「ひきこもり・不登校シンポジウム」を開催することで、相談業務に繋げることができた。

4. 課題・方向性

- ・こども会活動の活性化について、市こども会育成連絡協議会と引き続き、検討を進める。
- ・青少年指導員活動内容については、社会状況に対応する新たな活動について検討の必要がある。
- ・成人式について、参加率は75%前後で推移しているのが現状である。

内容について、引き続き検討する必要がある。

- 放課後子ども教室の、小学校間の開催内容のばらつきの改善については、指導員交流会の開催等、引き続き取り組む必要がある。
- 放課後子ども教室の指導員については、現在の地域からの指導員だけでなく、高校生や大学生及び国が提起する企業や団体からの指導員についても、多様化の点で検討する必要がある。
- 放課後子ども教室の実施について、国の方針として放課後児童クラブとの連携が示されており、主旨に沿った対応を検討する必要がある。
- 「こどもインフォメーション」については、掲載内容のほとんどが小学生までの対象であることから、配布範囲について検討する必要がある。
- 「子ども・若者支援」については、独自取り組みの展開及び公的機関や民間支援組織との連携・協働について検討する必要がある。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ③市民文化の振興】

1. 施策・事業の概要

- (1) すばるホールの運営
- (2) 市民会館の運営
- (3) 市民文化の振興
- (4) 市民文化祭の開催

2. 平成26年度の取り組み状況【資料編48ページ参照】

(1) すばるホールの運営

公益財団法人富田林市文化振興事業団を指定管理者として第3期初年度の管理運営を行い、芸術文化鑑賞事業、参加創造事業、普及啓発事業、市民文化祭事業、プラネタリウム及び施設の管理運営事業等を行った。新規取り組みとして、賑わい創出を目的に季節をテーマとした館内イベントを実施した。

(2) 市民会館の運営

アクティオ株式会社を指定管理者として第3期初年度の管理運営を行い、施設の貸館や受託事業として市民劇場を開催するとともに、自主事業としてレインボーホール講座を開催した。

(3) 市民文化の振興

文化振興基金を活用し、市内の文化団体の事業に対して、助成金を支出し、活動の財政的支援を行った。

(4) 市民文化祭の開催【資料編51ページ参照】

富田林市文化団体協議会を構成する団体の市民文化祭及び合同発表会としての芸能フェスティバル事業に対し補助金を交付した。

3. 点検結果・評価

(1) すばるホールの運営

公益財団法人富田林市文化振興事業団と連携し、市民に多様な文化活動や鑑賞機会を提供するとともに、住民自ら参加し創造する機会も提供するなど市民文化創造の拠点にふさわしい施設運営に努めた。

(2) 市民会館の運営

貸館事業とともに多種多様な講座を企画し施設の利用促進に取り組んだ。

(3) 市民文化の振興

文化振興基金の活用については、6団体117万円を予定していたが、3団体、600,000円の助成となった。

(4) 市民文化祭の開催

市文化団体協議会加盟の13団体のうち、9団体の単独発表会9事業及び2団体の合同発表会の3事業の合計12事業を開催した。補助金改革の中で、団体補助から事業補助への協議を行った。

4. 課題・方向性

・すばるホールの運営

「賑わい創出イベント」については、単年度で終わることなく、継続的に取り組むことで、すばるホールの活性化に繋いでいく必要がある。指定管理評価項目について、行政管理課と協議を進め、評価項目等の整理を行った。評価作業を進める中で、内容改訂の必要がある。

また、施設及び備品の改修について、年次的な計画を立てる必要がある。

・市民会館の運営

指定管理評価項目について、行政管理課と協議を進め、評価項目等の整理を行った。評価作業を進める中で、内容改訂の必要がある。また、施設及び備品の改修について、年次的な計画を立てる必要がある。

・市民文化の振興

文化振興基金は、当面、剰余金を文化振興基金に充てるとともに、文化振興基金の制度について引き続き検討が必要である。

・市民文化祭の開催

補助金改革の中で制度変更を行ったが、変更後の設定の妥当性、事業内容の合理性、補助金額積算の正当性等、検証の必要がある。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ④図書館活動】

1. 施策・事業の概要

- (1) 図書館資料の貸出とサービスの充実
- (2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携
- (3) 障がい者サービス
- (4) 子どもの読書活動の推進
- (5) 高齢者へのサービスの推進

2. 平成26年度の取り組み状況

(1) 図書館資料の貸出とサービスの充実【資料編52ページ参照】

- ①図書館所蔵の雑誌を購入負担していただくことで、スポンサーはその雑誌を広告媒体として利用することができ、スポンサー負担分を他の雑誌購入に充てることで図書館所蔵雑誌の充実となり、地域貢献ができる雑誌スポンサー制度を開始した。
- ②貸出サービスと同時に、読書相談やレファレンスサービス(4,353件)にも積極的に取り組んだ。スマートフォン等の普及により簡易な調べ物は個人で解決できることもあり件数は減少傾向であるが、レファレンスの内容については、郷土に関することやより専門的なものとなっている。
- ③広域相互利用の記念とした河内長野市との二市連携講座の実施や、大阪大谷大学、大阪芸術大学に加えて阪南大学の図書館との連携協力も開始し、生涯学習社会の進展や市民の学習ニーズに corres 応することができるよう努めた。
- ④図書館協議会(委員数10人)を2回開催し、図書館運営についての活発なご意見を伺った。

(2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携

図書館コンピュータシステムのインターネット予約受付を更新し、利便性の向上を図るとともに、図書館のホームページに開設している“調べものリンク集”を更新し、レファレンス機能の充実に努めた。また、府立図書館を始め、多くの図書館との相互貸借制度を利用して要望資料の迅速な提供(4,365冊)に努めた。また、他の図書館にも、貸出(1,453冊)提供した。

(3) 障がい者サービス

- ①朗読ボランティアと協働して対面朗読サービスや、市の「声の広報」に取り組んだ。
- ②音声訳ボランティア養成講習会を開催した。
- ③知的・学習障がい者（児）のためのＬＬブック（やさしく読める本）の収集に努めた。
- ④心身障がい者への郵送サービスの広報に努めた。

（４）子どもの読書活動の推進

- ①富田林市子ども読書活動推進計画に基づき、富田林市子ども読書活動推進会議を開催し、関係部署の取り組み状況の確認や情報交換を行った。
- ②ブックスタート事業、あかちゃんのおはなし会、絵本の読み聞かせ、おはなし会などをボランティアと協働して実施した。
子育て支援と子ども読書推進事業として、家庭での子育て支援、図書館でのブックスタートや、おはなし会を支援するボランティア養成講座を開催し、図書館ばかりでなく地域や学校で、本と子育てに関わる人材を育成し、市民と行政と地域が手を携え、子育て環境作りをめざした。
- ③小学１年生全員への図書館のオリエンテーションの実施や、ブック便で、学校図書館への配本の充実に努めた。
学校図書館との連携により選定した科学の本の展示・貸出を図書館で行い、市・教育委員会主催の「読書感想文コンクール～とっぴーと読もう！～」に協力した。
- ④保護者や子どもに身近な大人へ絵本や読み聞かせの啓発を行うため、ファミリーサポートセンター、お産センター、保育園に「図書館出前講座」を実施した。
- ⑤子どもの年齢に応じた絵本リスト５種類を更新し、保健センターでの健診や幼稚園、保育園等へ配布し情報提供を実施した。

（５）高齢者へのサービスの推進

- ①利用が増加している高齢者へのサービスとして、ニーズに応える大活字本やＣＤの収集に努めた。
- ②朗読ボランティアの協力により「おとなのための朗読会」を開催した。

３．点検結果・評価

- （１）広域相互利用の導入により、利用者ニーズへの対応が拡大した。また、

河内長野市立図書館との二市連携講座を開催し好評を得た。

- (2) 図書館コンピュータシステムのインターネット予約受付の更新による利便性の更なる向上と経費削減の継続が図られた。
- (3) LLブックの収集に努め、コーナーの充実を図りまた、心身障がい者用郵送貸出の増加を図った。
- (4) 「図書館出前講座」や子どもの年齢に応じた絵本リストの配布により、子ども読書活動の推進に取り組んだ。また、長年に渡る子どもに関わる活動において、平成20年度の中央図書館に続き、金剛図書館が「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞した。
- (5) 高齢化社会への対応に向けて、ニーズに応える資料の収集・提供した。朗読会の行事に取り組み好評を得たため、回数の増を検討している。

4. 課題・方向性

- ・ 図書館サービスについての点検を行い、その利便性の向上に努める。
- ・ 館内で新聞、雑誌等を読覧し長い時間を図書館で過ごされる、滞在型となっている高齢者のニーズに応える、資料の収集・提供や行事の開催の継続及び読書環境の整備とともに、高齢者の利便性を考えたサービスを検討する。
- ・ 障がい者サービスの更なる向上に取り組む。
- ・ 子ども読書活動推進計画に基づき、毎年子ども読書活動推進会議を開催し関係部署と連携を密にしながら子ども読書活動の推進を図る。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ⑤公民館活動】

1. 施策・事業の概要

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
- (2) 公民館クラブ連絡会（中央、東、金剛）・協議会の育成・指導
- (3) 公民館運営審議会の開催

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
多彩な主催講座（3館合計79講座）を大学・専門機関等と協力して実施するとともに、公民館クラブや公民館特技登録者等地域の人材を活かしたイベント事業などを実施した。【資料編53・54ページ参照】
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
市民の自主的な社会教育活動である公民館クラブ活動活性化のために、活動の周知やクラブ連絡（協議）会との連携協力事業を実施した。
- (3) 公民館運営審議会の開催
7月と3月の年2回開催。第1回では、前年度事業報告、第2回では次年度事業計画等の審議を行った。

3. 点検結果・評価

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供
 - ・市民企画講座などの事業を行ない、地域の人材育成を図った。また大学・専門機関などと連携協力して、効率的、効果的な事業実施をめざした。
 - ・公民館ホームページ、市ウェブサイトお知らせ欄などを活用し、事業のPRを行なった。
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
 - ・「納涼の夕べ」（東）、「富田林寄席」「富田林人形劇まつり」（中央）「お茶の出ない歌声喫茶」「スプリングコンサート」（金剛）など地域に密着した催しを公民館と協力し実施し、地域文化の向上に寄与した。
 - ・「公民館まつり」「AED講習会」「クラブ体験デー」など3館共同の事業を実施し、クラブ活動の活性化を図った。
 - ・中央公民館では会員の高齢化等によるクラブ数の減少が続いたが、東公民館は横ばいで推移し、金剛公民館ではクラブ数が増加するなど、持ち直しの傾向が見られた。【資料編53・54ページ参照】

(3) 公民館運営審議会の開催

- 公民館主催事業に関して、学校との連携のあり方や、避難所としての公民館の機能につながる事業実施などについて、意見交換を行なった。

4. 課題・方向性

(1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供

- 講座の成果を、広く市民と共有するために「教室だより」の館内掲示やインターネット上での学習内容の発信を検討していく。
- 青年層、勤労者層が、参加しやすい事業の内容や開催方法について、研究していく。
- 「公民館だより」の充実と併せ、ホームページの事業情報を見た参加者が増えていることから、より新鮮な公民館情報が提供できるよう、更新頻度を高めていく。

(2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導

- 公民館クラブの活性化を目指し、新規クラブ及びクラブ員の加入促進を図る。
- 社会教育活動としての、公共性や社会貢献の一層の向上を図るために、研修会やクラブ間の連携を図る事業を充実する。
- 利用が少ない勤労者や若者が参加しやすい活動内容及び時間帯のクラブ育成を図る。
- 公民館クラブ連絡会に未加入の団体に対して、加入を呼びかけていく。

(3) 公民館運営審議会の開催

- 各種研修会への参加など、委員の研修機会の充実を図る。
- 定期監査で指摘された、審議会の機能充実を実現するために、専門的委員の人选や、年間2回の開催時期について検討する。

【3. 生涯学習 （2）スポーツ振興】

1. 施策・事業の概要

- (1) 生涯スポーツの普及振興
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

2. 平成26年度の取り組み状況 【資料編55・56ページ参照】

(1) 生涯スポーツの普及振興

- ①市民の体力向上と健康増進を図るため、スポーツ教室、トレーニング講習会・相談、体力測定会を開催した。
- ②地域スポーツの振興と地域コミュニティ意識の高揚を図るため、地区ファミリーレクリエーション、健康ウォーキング、夏休みラジオ体操教室を開催した。
- ③親子・家族・グループ等にふれあいの場と健康づくりの場を提供するため、チャレンジ・ザ・ウォークを開催した。
- ④自主性のあるリーダーを養成することを目的として、ジュニア・スポーツリーダー・スクールを開催した。

(2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

- ①市をあげてのイベントとして、行政をはじめ地域の各種団体が支援協力することにより地域の活性化を図り、プロ野球を通じてスポーツの振興と市民生活の向上に寄与するため富田林ドリームフェスティバルを開催した。
- ②市民の体育向上を目的として、富田林市民体育大会（25競技）、富田林市民マラソン大会、南大阪駅伝競走大会（南河内6市2町1村）を開催した。
- ③スポーツ・レクリエーションの普及・振興を目的として、富田林市民スポーツ・レクリエーション祭を開催した。

3. 点検結果・評価

(1) 生涯スポーツの普及振興

市民の誰もが参加できるスポーツ教室や地域でのスポーツ・レクリエーション活動、ジュニアスポーツリーダー講習を開催することにより市民の健康・体力づくり並びに社会体育指導者の養成が促進できた。

(2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

各種スポーツ大会・事業等の開催については、市民の体育向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催することによりス

スポーツ普及・振興を図ることができた。

4. 課題・方向性

- スポーツ教室の開催については、より市民のニーズにあった内容とするとともに、体育施設の指定管理者として、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にした各種スポーツ教室の展開が必要である。
- 市民体育大会の開催や各種スポーツ・レクリエーション関係団体の事業や大会等を支援するとともに、身近な地域のスポーツ活動を楽しむことができる環境をソフト・ハード両面から整備し、市民のスポーツに参加する機会の増加に努める。

また、学校体育施設は地域の最も身近なスポーツ施設であり、住民のスポーツ活動における期待は大きい。地域住民が主体的に協力し自主運営していくことを基盤とし、子どもから高齢者まで住民の誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりやスポーツに対する地域の意識の高揚を図っていく必要がある。

- 地域の活性化につながる、市をあげてのイベントとしての「富田林ドリームフェスティバル」を開催する。今後ともこの事業を通じ、更なるシティセールス及び市民満足度を上げるための、先進的な取り組みを検討していく。

【3. 生涯学習 （3）文化財の保存と活用 】

1. 施策・事業の概要

- (1) 富田林寺内町地区の保存と活用
- (2) 埋蔵文化財の保存と活用
- (3) その他文化財の保存と活用

2. 平成 26 年度の取り組み状況

(1) 富田林寺内町地区の保存と活用については、町家の修理事業を 3 件実施した。【資料編 57 ページ参照】

(2) 埋蔵文化財の保存と活用については、埋蔵文化財の事前調査を 10 件実施し、本格的な発掘調査を 6 件実施した。また、開発行為にかかる試掘調査を 8 件実施した。

・市立埋蔵文化財センターの管理運営については、センター 2 階展示室の見学者を 23 人、資料調査で 6 人を受け入れた。また、学校や地域からの申し込みによる講座に 15 件の職員の講師派遣を行うとともに、府立近つ飛鳥博物館等へ資料貸出を行った。かがりの郷において、出土遺物の展示と歴史講座を実施した。

(3) その他文化財の保存と活用については、市民からの各種文化財の照会等による回答や研究者への協力を行った。また、文化財に関して市ウェブサイトや広報紙、facebook において啓発活動を実施した。

3. 点検結果・評価

(1) 寺内町地区内の町家の修理・修景や広場・防火施設等の整備により、環境整備が着実に成果をあげており、空家活用も進展しつつある。また、住民主体の寺内町四季物語等のイベントも定着してきた。

(2) 展示会と歴史講座を引続き実施したことで、本市の貴重な文化財を市内外に発信するとともに、既存施設の有効活用にもつながった。

4. 課題・方向性

・寺内町地区内（13.3ha）の町家の修理・修景に対する補助事業を進める

とともに、地区全域での伝統的建造物群保存地区指定実現に向けて、年次計画に沿った着実な事業推進を図る必要がある。

- 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理について、指定管理などの効率的な管理・運営方法を考える必要がある。
- 市域の貴重な歴史的遺産等を保存するため、文化財保護条例の制定に取り組む必要がある。
- 文化財資料を適正な環境で保管する施設が必要である。
- 魅力ある歴史的遺産の情報発信に努めるとともに、展示会・歴史講座を今後も継続して実施し、発展させていく必要がある。
- 新堂廃寺跡の史跡整備に向けて、これまで実施してきた調査成果を総括し、整備計画を策定する必要がある。

【3. 生涯学習 (4) 施設等の整備】

1. 施策・事業の概要

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営
- (2) すばるホールの施設管理運営
- (3) 市民会館の施設管理運営
- (4) 公民館・図書館の施設管理運営
- (5) じないまち交流館の施設管理運営
- (6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営
- (7) 市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の施設管理運営
- (8) 公会堂跡地施設の基本・実施設計

2. 平成26年度の取り組み状況

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営
福祉青少年センターの施設及び設備の修繕等を行った。
 - ①館内エアコン修理 ②消防用誘導灯バッテリー交換
- (2) すばるホールの施設管理運営
指定管理者との協定に基づき、すばるホールの施設管理運営及び設備の修繕等を行った。
 - ①大ホール舞台吊物機構設備改修 ②浄化槽室排気機構修繕 ③非常用蓄電池更新
- (3) 市民会館の施設管理運営
指定管理者との協定に基づき、市民会館の施設管理運営及び設備の修繕等を行った。
 - ①多目的ホールボタンワイヤーロープ取替修繕 ②空調設備修繕
- (4) 公民館・図書館の施設管理運営
 - I. 中央公民館・図書館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。
 - ・誘導灯漏電修繕・別館屋根雨漏り修繕(前年度未実施箇所)・図書館ベランダ鉄骨修繕ほか14件

Ⅱ. 金剛図書館・公民館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。

・講座室遮光カーテンの更新・図書館照明（ダウンライト）設備改修・ステンレス玄関マット修繕ほか9件

Ⅲ. 東公民館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。

・屋上雨漏り修繕ほか3件

(5) じないまち交流館の施設管理運営

指定管理者である富田林寺内町をまもり・そだてる会が行った。

(6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営

旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営を直営で行った。

旧杉山家住宅塀の改修工事を実施した。

(7) 市内社会体育施設の管理運営

指定管理者との協定に基づき、社会体育施設の管理運営及び設備の修繕等を行った。

①市営喜志プール解体及びグラウンド整備工事

②市民プール開設工事

③錦織河川敷運動広場整備工事

④総合体育館エントランス屋根防水改修工事

⑤スポーツ施設予約システム（オーパスシステム）の導入

(8) 公会堂跡地施設の基本・実施設計の検討を進めた。

3. 点検結果・評価

すばるホール・市民会館・公民館・図書館・旧杉山家住宅・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設の整備及び設備の修繕・更新を行い、利用者が安全・安心に施設利用することができた。

また、指定管理者との協定に基づき、すばるホール・市民会館・じないまち交流館・社会体育施設の施設管理運営を適正に行った。

4. 課題・方向性

- ・福祉青少年センター

公会堂跡地施設新設後の、現センターのあり方を考える必要がある。

- ・すばるホール

施設・備品の経年劣化に伴う改修については、年次的な計画を検討する必要がある。

- ・市民会館

施設・備品の経年劣化に伴う改修については、年次的な計画を検討する必要がある。

- ・公民館・図書館

施設の老朽化等に対して、適切な修繕等を行い、利用者にとって安全・安心な社会教育施設としての機能維持に努める。

① ユニバーサルデザインを目指し、すべての市民が利用しやすい施設づくりに努める。

② 中央・東・金剛・喜志分館の施設・設備・備品の整備・改修・更新に努める。

- ・旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅

老朽化に伴う施設整備を適切に行い、利用者の安全と快適性の確保に努めるとともに、指定管理などの効率的な管理・運営方法を考える必要がある。

- ・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の老朽化に伴う整備・改修を年次的に行い、安全・安心に利用できる施設づくりに努める。

- ・公会堂跡地に（仮称）複合的生涯学習プラザの新設工事を行ない、管理・運営について検討する。

教育に関する事務の点検・評価報告書(平成 26 年度実績)の所見

学校法人 関西外国語大学 教授 岡澤潤次

平成 26 年度の施策を対象とした富田林市教育委員会の「教育に関する事務の点検・評価報告書」について、教育総務部並びに生涯学習部の各課等の課別業務、主要事業実績の点検評価に関する具体的な説明を受け、第三者からの視点で慎重に検討し、その所見を以下に述べる。

本報告書は、内容面、表記面ともに年々洗練度が増していると言える。これまで同様の様式を踏まえ、教育委員会の活動状況をはじめ、学校教育、生涯学習についての教育に関する事務事業が、テーマに類別した明快な記述となっている。その点検・評価も精査され、加えて関連するデータをグラフ等わかりやすい資料として添付した編集(資料編の参照ページを明記)となっている。学校教育に関して5テーマ、生涯学習に関して8テーマとし、1. 施策・事業の概要、2. 平成 26 年度の取り組み状況、3. 点検結果・評価、4. 課題・方向性という4つの項だてに整理し、読みやすく工夫している。

近年の厳しい財政状況の中で、平成 26 年度の実施された施策については、それぞれの事業課題を念頭に、改善の必要な事務事業を最優先に扱い、各課の創意・工夫による適切な措置と着実な事業展開が行われ、富田林市教育委員会が一体となって本市の教育行政の推進に傾注されている。

さて、平成 23 年 3 月 11 日に発生し、甚大な被害をもたらした東日本大震災により今なお後遺症に苦慮している一方で、徐々に復興している報道に接する。しかしながら、全国では様々な自然災害が後を絶たず、また、想定外の被災に対応した防災対策の必要性から、本年度も、学校施設の改善・整備に重点的に取り組まれ、なお一層充実する施策を着実に進められている。学校施設は児童・生徒が一日の大部分を過ごす生活の場であり、住民の緊急避難場所としての機能と役割も担い、安心・安全の確保が何よりも重要である。小・中学校・幼稚園の耐震補強工事は、国の目標で平成 27 年度までに完了することになっているが、本市は、国より 1 年も早く平成 26 年度で耐震化が全て完了した。このことは大阪府下でも席卷していることと、喫緊施策の対応に精力的に取り組む姿勢について高く評価できる。

なお、「教育に関する事務の点検・評価報告書」作成に当たり、例年通り課別業務・主要事業一覧の参考資料を基にした教育委員会事務局各課が一同に会して事務事業の説明をする企画は大変意義深い。ジグソー学習法的に意見交換をすることから相互点検と評価ができ、課題と方向性が協働・共有される。この報告書が地域住民に説明責任を果たす意味で貴重な役割を担っているものと考えられる。

今後も教育に関する事務の点検・評価において、なお一層の充実と、教育行政の

発展を期待し、以下各テーマ項目について所感を述べる。

1. 教育委員会の活動状況について

- 教育委員が、学校授業視察はじめ学校や生涯学習施設の状況把握のための現場訪問等積極的な教育状況把握を図り、また諸行事や圏内先進地視察など、教育委員研修に努め、本市教育の活性化に尽力されている。
- 教育委員会が、教育委員会会議録等をウェブサイトで公開し、住民への情報開示で透明性を図り、教育上の諸課題の解決に鋭意努めていることが評価される。
- 学校施設の老朽化や生活環境変化に伴い、施設設備の計画的な整備を期待する。

2. 学校教育について

- 全幼稚園で園内研究保育と小学校1、2、6年生及び中学校3年生に少人数学級編制等きめ細かな指導の充実を図り、グローバル人材の育成のため英語教育、外国語活動の推進に努め、「教育カウンセラー」を配し児童・生徒、保護者への相談体制の確立と教員の指導力向上に取り組み、確かな学力育成を図る。また、いじめ等の未然防止に努め、長期欠席や不登校ぎみの児童・生徒の状況把握や改善に取り組み、明るく楽しい学校園づくりに寄与されている。
- 健やかで豊かな人間性を育む教育として、人権尊重教育、支援教育及び人間性を育む教育の三点について重点的に推進を図っている。まず、人権尊重教育は市教委主催の数回の研修、各種研究会等と連携し人権教育を担う次世代の育成を図っている。次に支援教育においても市教委主催の教職員研修を開催し、自閉症や発達障がい等指導力向上と校内体制づくりを促し、積極的な巡回相談を何回も実施し、一層の充実にも努められた。さらに関係機関で共用できる「つながるファイル」を協働して本格活用できた。
そして、各校で様々な体験活動と平素の教育活動を重視し、健やかで豊かな人間性を育む教育の推進を図られたい。
- 学校力の向上は、家庭・地域の協力のもと、各教員の指導力と組織力にかかる。市教委主催の590名参加(全教職員85%参加率は増加)教員全体研修や延1030名参加の課題別研修や各校園別研修は、教職員の人格形成、使命感や責任感の涵養に寄与し、学校力の向上に反映されている。全国学力・学習状況調査の分析から、児童・生徒の学力面、生活面の課題と学校全体で取り組む具体的な改善方を明示した。
学力、生活両側面の改善につながることを期待する。今後家庭、地域の協力のもと開かれた学校園づくりで学校力向上と教職員の資質向上を図られたい。
- 学校給食の推進について、安全・安心を踏まえ、効果的・効率的運営に努めている。小学校は衛生管理基準及びドライ運用作業手順の徹底を図り、安全で安心でおいし

い給食の提供は何よりである。平成 26 年 4 月から小学校給食費の徴収管理業務公会計化を進めている。学校給食センターの建て替えの基本構想の策定と検討を実施された。

中学校は自校方式で全 8 校において実施された。喫食率は前年度 41.8%から今年度末 45.8%に上昇した。学校間で格差があるものの喫食率改善の取り組みの成果が見られる。低喫食率校はもとより全中学校に、食育の理念のもと推進を強く望む。

○施設等の整備について、耐震補強工事が前述の通り完了された。その他学校トイレ洋式化改修工事等を進め、良好な教育環境整備に努める姿勢を高く評価する。

3. 生涯学習について

○生涯学習の推進は、我が国の重要課題として位置づけられている。本市もその趣旨から様々な社会教育事業が展開されている。社会教育委員会が軸になり社会教育団体の活動支援、出前講座、人権教育の推進等、市や国の動向に照らし積極的に進める。青少年対策事業は青少年指導員の育成、放課後子ども教室の運営等に課題があるが鋭意努力されている。成人式は出席率 75%前後で推移し、減少傾向で課題が多い。市民文化の振興事業は指定管理等運営と補助金改革に対応し、工夫されている。

図書館活動は図書館資料の貸出とサービスの充実、他の図書館との連携、障がい者、子どもや高齢者サービス等事業展開を図り、利用者のニーズに対応している。公民館活動は市民サービスと生涯学習ニーズに対応した学習機会拡大に努め、事業開発と活性化に努め、市民文化の発展を願う。

○スポーツ振興においては、生涯スポーツの普及と体育向上に向けたイベントが活発である。市民ニーズに適する内容とより多くの市民が参加しやすい体制及び指導員の養成が求められている。地域住民が主体的に協力し自主運営にすることで、誰もがスポーツに親しむ環境づくりやスポーツに対する意識の高揚が必要である。

○文化財の保存と活用について、富田林寺内町地区、埋蔵文化財等保存と活用を図るとともに史料の散逸を防止しなければならない。文化財に関する広報と啓発活動を進め、文化財の価値を広く市民に知らせ、文化の香り高い街づくりを期待する。

○生涯学習施設等老朽化対策、耐震化対応・改修を計画的に進め、安全・安心して利用できる施設整備を図られていることに敬意を表し、今後尚一層の尽力を乞う。

1. はじめに

このような形で所見を述べさせていただく機会も、今回で6回目となった。これまで一貫して感じてきたことであるが、教育総務部、生涯学習部の両部署ともに、行政のプロとしての自覚を持って、最大限の効果を上げるべく尽力されていることがうかがえた。すなわち各部署では、それぞれの分野において、本市の特徴に基づきながら、市民的ニーズの把握とそれへの対応を、真摯に、そして確実に実施されていることが報告からうかがえる。また、PDCAのサイクルを、エビデンスに基づいた判断を行いながら回していくプロセスも、日常化され、一定程度機能してきたように思われる。以下、個々の施策カテゴリごとに所見を記述する。

2. 学校教育に関する施策にかかわって

- (1) 「幼児教育・学校教育の充実」については「幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成」及び「明るく楽しい学校園づくり」が目指されている。26年度は、従来からの退職校長等による「教育カウンセラー」の配置に加え、「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」の活用にも取り組み、多方面から学校、教員、児童・生徒を支援する専門家が配置されてきたことが成果として指摘できる。全国的に「チーム学校」の実現が目指されつつあるが、それが単に教員同士のチームではなく、教員を支援する多様な専門家とのチーム作りであることを考えたとき、そうした多方面からの支援を支える、学校内外の体制づくりが次の段階の課題となろう。
- (2) 「健やかで豊かな人間性をはぐくむ教育」については、「人権尊重の教育の推進」「支援教育の推進」「人間性をはぐくむ教育の推進」が目指されている。26年度はあらたに「つながるファイル」を開発し、複数の校種や機関が連携して保護者や児童・生徒を支える仕組みを本格運用させたところに成果が見られる。「つながるファイル」は、障がいの有無にかかわらず富田林市内に住むすべての児童・生徒が活用可能だとのことで、支援のユニバーサルデザインとも言える優れた仕組みと理解している。28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されることに伴って、「合理的配慮」を実現していくツールとしても育てていっていただきたいと考える。
- (3) 「学校力の向上」については、「教員の指導力向上、学校力の向上」「地域に開かれた学校づくり」が目指されている。ここでは各種の教員研修の企画と実施を通じた教員の能力開発が行われてきたことが、例年同様、成果として指摘できる。平成26年度実施の「全国学力学習状況調査」においては、算数・数学でA問題、B問題共に、大阪府の平均を上回る結果を得た点にも、その成果がみられよう。今後は、初任者教員等の経験年数の少ない教員への対応といった時代的な側面にも重点を置き、より

メリハリのある施策の計画と実施を行うことも考えられてよいと思われる。

- (4) 「学校給食の推進」については、小学校中学校共に「学校給食の安全・安心な実施」「学校給食の効果的・効率的な運営」が目指されると共に、小学校では「給食費の徴収管理業務」の実施、「学校給食センター建て替えに伴う基本構想の策定と整備基本計画の検討」が目指された。さらに、中学校では「『給食の日』を始めとした喫食率向上に向けた取り組みの実施」が目指されてきた。報告では各事業共に成果を上げつつあることがわかる。中でも、中学校給食の喫食率はこの間、着実な上昇を見せており、担当課の努力の結果が見て取れる。ただし、学校によってその成果の現れ方が異なるようでもあり、これまでと異なった方法も模索されてよいとも思われた。
- (5) 「施設等の整備」については、小中学校の「耐震補強工事」「トイレ改修工事」「プール塗装工事」「受変電設備改修工事」「図書室空調設備整備設計業務・工事」などが実施されてきた。富田林市においては、幼稚園を含めて耐震化が既に平成26年度中に完了し、国の指針を1年前倒して実現できたことは大きな成果だと言える。今後は、こうした成果に基づいて非構造部材の耐震対策を行っていくとのことであるが、ここでも計画の着実な実施を期待したい。

3. 生涯学習に関する施策にかかわって

- (1) 「生涯学習の推進」の「①生涯学習・社会教育事業」については「社会教育委員会の開催」など全4事業が計画実施されてきた。いずれも市民のニーズを適切に把握する努力が払われているように見受けられた。また、ニーズに応えるだけでなく、市として市民への働きかけが肝要と思われる事業、たとえば市PTA連絡協議会で「親学習」をテーマにした学習会の企画なども行われ、将来を見据えたものとなっているように思われた。

「②青少年対策事業」については「青少年育成と青少年活動を支援するための事業」など全7事業が計画実施されてきた。青少年の「ひきこもり」や「不登校」へも目配せをしたバランスのとれた事業が行われているように見受けられる。高校卒業後の「ひきこもり」については全国的にも把握しにくい現状にあるため、多様な年代への目配せと支援が今後より必要になると思われる。地域のNPOや民間の支援機関との連携等をふくめて、今後の対応を期待したい。

「③市民文化の振興」については、「すばるホールの運営」を始めとして全4事業が計画実施されてきた。施設の管理運営を指定管理者に委託することは今後も重要な方法であるが、報告書を読ませていただき、指定管理者の業績が期待されるものであったかどうかを評価する仕組みの整備がよりきめ細くなされる余地があるようである。事業の実態に合わせた評価方法の開発が望まれる。

「④図書館活動」については、「図書館資料の貸し出しとサービスの充実」を始めとして全5事業が計画実施されてきた。雑誌スポンサー制度を開始するなど効率的

運営につとめていること、さらに他の図書館との連携、障がいを持った市民や高齢者へのサービスの工夫など先進的な努力をされてきたことがうかがえた、高齢者人口の増加を見据えた事業の実施を今後とも、期待したい。

「⑤公民館活動」については、「公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供」を始めとして全3事業が計画実施されてきた。ここでは市民自らが参加し、企画する機会などが大切にされていて、本事業自体が市民育成の場になっていることがうかがえた。市民の多様なニーズに応えていくための行政の在り方の一つの姿として、興味深いと思われた。今後とも、この方向での事業の計画と実施を期待したい。

(2) 「スポーツ振興」については「生涯スポーツの普及振興」「体育向上に向けた各種大会・事業との開催」が計画実施されてきた。市民の主体的参加によるスポーツ文化の振興が目指されており、市民参加の行政の展開という点で大変興味深い。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックとの関わりで、既存のスポーツ種目だけでなく、これまであまり身近でなかったスポーツ種目や障がいを持った人も実施可能なスポーツ種目への興味関心を培うような仕掛けを市民とともに考案することはタイミング的に可能だと感じられた。

(3) 「文化財の保護と活用」については「富田林寺内町地区の保存と活用」「埋蔵文化財の保存と活用」「その他の文化財の保存と活用」が計画実施されてきた。重要な文化財の保存についてのこれまでの事業に大きな成果を感じるとともに、その活用について、より見える形での発信が必要のように思われる。活用の形を模索することは保存の必要を、市民がより強く認識することにもつながるであろう。

(4) 「施設等の整備」については「福祉少年センターの施設管理運営」を含め全8事業が計画実施されてきた。施設の管理運営の合理化や老朽化への対応など、多面的に実施されてきたことがうかがえる。今後とも、市民のニーズに応える能力を維持しつつ、合理的な管理運営を目指していただきたい。

4. おわりに

以上、個々の施策カテゴリごとに、所見を述べてきた。今後も、人権の実現、安心・安全の実現をめざすという基本的路線を確認しつつ、精力的に施策をすすめ、使命の達成に向けてひき続き努力を続けるとともに、説明責任を果たしていただきたい。

1. 教育委員会所管施設

(1) 市立学校園等

[小学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	児童数 H26.5現在
富田林小学校	常盤町16番20号	明 5. 5. 14	12,998	6,355	5,111	723	321
新堂小学校	若松町四丁目5番4号	明 6. 10. 1	18,542	7,859	7,817	1,365	508
喜志小学校	木戸山町1番36号	明 6. 2. 25	10,328	4,692	4,291	673	482
大伴小学校	南大伴町一丁目2番20号	明38. 5. 11	12,183	6,964	4,811	725	491
彼方小学校	大字彼方411番地	明 6. 5. 1	16,066	6,081	4,861	720	285
錦郡小学校	錦織南一丁目8番1号	明 5. 8. 15	10,833	5,101	4,381	743	325
川西小学校	新家一丁目3番1号	明26. 4. 1	15,469	6,609	4,997	725	431
東条小学校	大字龍泉566番地	明 5. 5. 1	12,766	4,942	3,061	636	129
高辺台小学校	高辺台三丁目1番1号	昭43. 1. 8	15,993	6,646	6,276	703	176
久野喜台小学校	久野喜台一丁目16番1号	昭44. 4. 1	19,803	9,156	5,659	758	326
寺池台小学校	寺池台四丁目3番1号	昭45. 1. 1	17,558	6,693	6,189	754	486
伏山台小学校	伏山二丁目1番1号	昭52. 4. 1	18,785	6,990	3,904	727	299
喜志西小学校	梅の里四丁目6番1号	昭53. 2. 22	17,268	9,496	3,019	725	304
藤沢台小学校	藤沢台二丁目3番1号	昭55. 4. 1	28,760	15,517	5,242	726	420
小金台小学校	小金台三丁目11番1号	平 元. 4. 5	24,275	11,181	6,443	919	532
向陽台小学校	向陽台五丁目1番1号	平 2. 4. 1	26,754	9,774	5,793	919	234

[中学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	生徒数 H26.5現在
第一中学校	寿町一丁目3番5号	昭22. 4. 1	25,372	13,326	8,033	983	477
第二中学校	新家一丁目4番1号	昭25. 4. 1	22,458	13,508	5,909	1,213	524
第三中学校	大字佐備15番地	昭46. 4. 1	25,889	12,351	6,002	850	441
金剛中学校	寺池台一丁目1番1号	昭43. 1. 8	30,253	14,481	7,914	1,018	457
葛城中学校	藤沢台三丁目4番1号	昭55. 4. 1	33,310	17,177	6,198	1,018	291
喜志中学校	梅の里一丁目7番1号	昭58. 4. 1	21,781	8,134	5,165	795	467
藤陽中学校	向陽台三丁目4番1号	昭61. 4. 1	29,400	15,890	5,837	1,182	348
明治池中学校	小金台二丁目11番1号	平 2. 4. 1	26,586	13,507	4,977	968	303

[幼稚園]

園名	所在地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 H26.5現在
富田林幼稚園	常盤町15番1号	大 3. 10. 1	2,554	906	36
新堂幼稚園	若松町四丁目7番1号	昭28. 4. 10	3,411	942	32
喜志幼稚園	木戸山町1番36号	昭29. 4. 10	1,541	421	34
大伴幼稚園	南大伴町一丁目2番5号	昭29. 4. 1	2,340	660	50
板持幼稚園	西板持町八丁目7番43号	昭28. 2. 4	1,755	584	休園
彼方幼稚園	大字彼方325番地の1	昭49. 4. 1	2,522	441	42
錦郡幼稚園	錦織南一丁目2番10号	昭29. 4. 20	1,957	424	26
川西幼稚園	新家一丁目3番2号	昭29. 4. 10	2,912	727	34
東条幼稚園	大字龍泉566番地	昭49. 4. 10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目1番2号	昭52. 4. 11	4,821	700	21
喜志西幼稚園	梅の里四丁目7番1号	昭55. 4. 10	1,700	462	22
青葉丘幼稚園	加太二丁目8番14号	昭31. 4. 1	2,884	970	39
津々山台幼稚園	津々山台一丁目20番9号	平 5. 4. 12	2,000	667	65

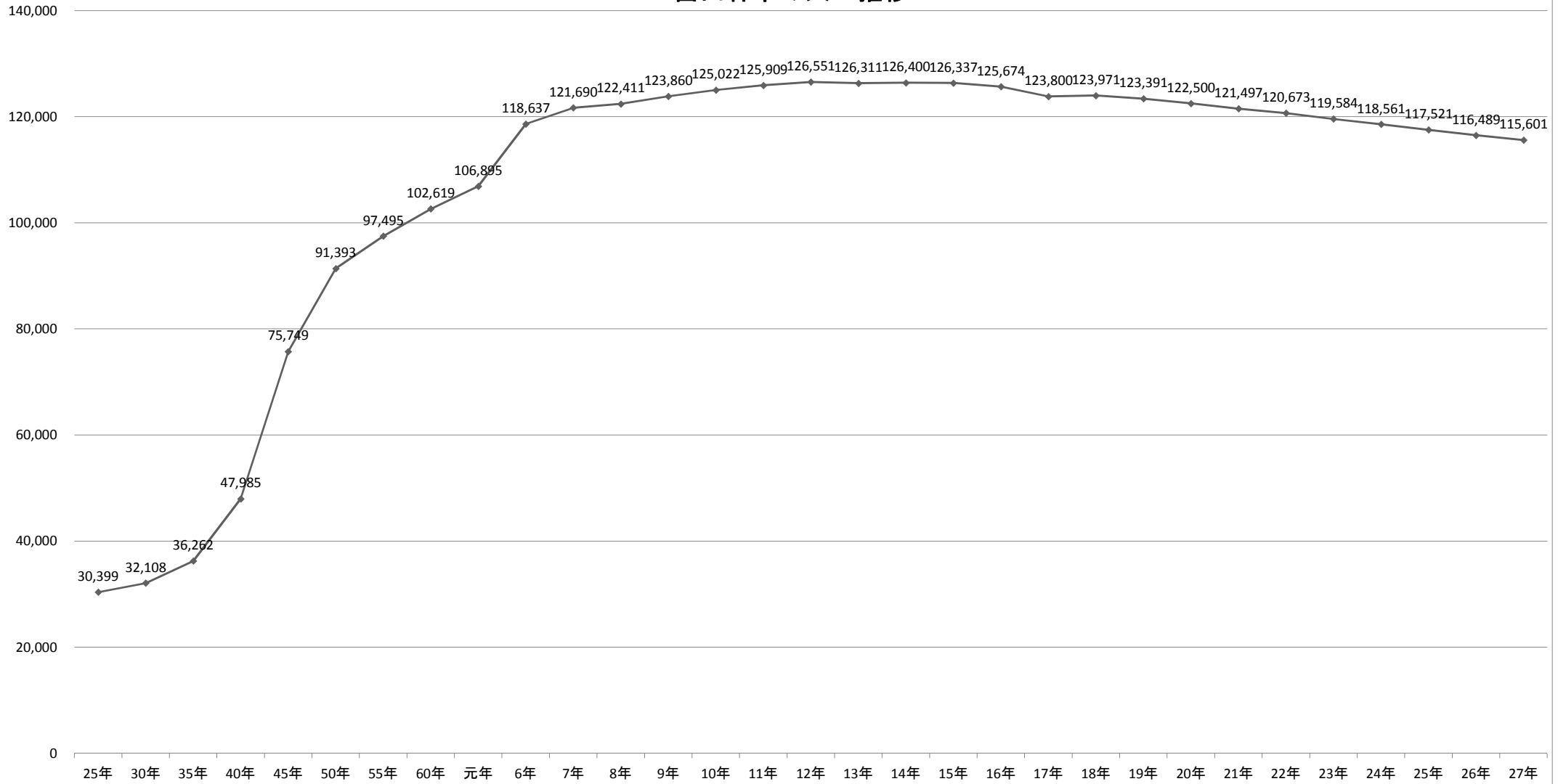
[給食センター]

施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延べ床面積(㎡)	調理食数(食)
第1学校給食センター	昭47. 3	3,482	1,760	3,800
第2学校給食センター	昭54. 11	4,000	2,002	3,300

(2) 生涯学習・社会教育施設

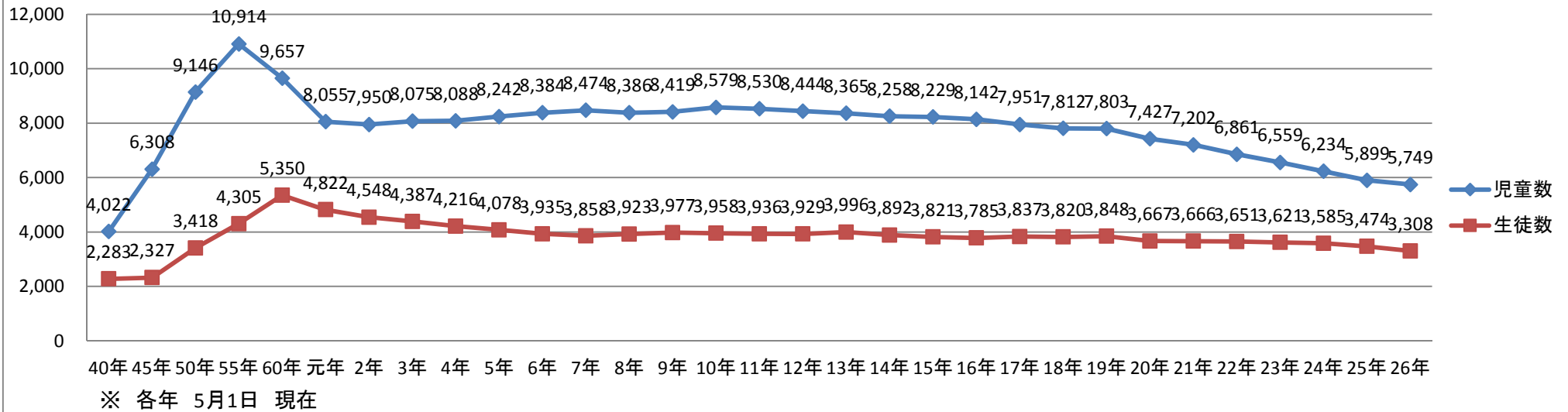
施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	主要な施設
すばるホール	平成3年10月	13,900	18,730	ホール(806席)、小ホール、プラネタリウム、レセプションホール、音楽練習室、各種会議室
市民会館(レインボーホール)	昭和50年3月 平成元年3月	10,063	10,246	ホール(400席)、多目的ホール(700席)、各種会議室
公会堂《平成23年4月から休館》	昭和56年12月	898	878	ホール(350席)
福祉青少年センター	昭和46年7月	590	737	各種会議室、自習室
旧杉山家住宅(重要文化財)	昭和62年9月	1,432	720	
寺内町センター	平成3年3月	320	301	休憩室、展示室、会議室
じないまち交流館	平成18年3月	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽
じないまち展望広場	平成22年3月	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽
埋蔵文化財センター	平成3年3月	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室
旧田中家住宅	平成24年3月	770	233	和室1、和室2
中央公民館	昭和51年3月	3,503	1,747(図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室
中央図書館	昭和51年3月	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛図書館	昭和58年2月	3,205	1,816(公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛公民館	昭和58年2月	金剛図書館内	903	ホール、講座室、美術室、実習室、和室
東公民館	昭和56年3月	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室
中央公民館喜志分館	平成12年4月	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室
中央図書館東分室	昭和56年6月	東公民館内	57	図書室
中央図書館喜志分館	平成元年5月	市民会館内	77	図書室
市民総合体育館	昭和55年10月	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室
総合スポーツ公園	平成6年3月	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート(8面)、ゲートボール場、わんぱく広場、展望台、ジョギングコー
青少年スポーツホール	昭和46年3月		1,069	競技場
青少年教育キャンプ場	昭和46年3月	4,958	—	管理棟、調理場、炊事場
テニスコート 錦織	昭和53年11月	7,695	—	ハードコート1面
中野	昭和52年8月	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
金剛東	昭和56年4月	1,385	—	アンツーカー2面
金剛	昭和53年11月	680	—	アンツーカー1面
津々山台	昭和63年7月	1,600	—	アンツーカー2面
津々山台第2	平成8年4月	1,540	—	ハードコート2面
グラウンド 金剛中央	昭和44年10月	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
金剛東	昭和56年4月	7,630	—	軟式野球
喜志プール横	昭和40年12月	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
喜志(河川敷)	昭和53年9月	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
川西(河川敷)	昭和53年11月	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
西板持(河川敷)	昭和56年4月	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
石川(河川敷)	平成19年4月	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
若松東	平成22年4月	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
中野2号公園	昭和58年2月	3,600	—	ソフトボール1面
中野3号公園	昭和58年1月	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
ゲートボール場 彼方	不明	710	—	ゲートボール1面
津々山台	平成10年4月	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ 川西(河川敷)	平成22年4月	8,660	—	グラウンドゴルフ2面

2. 富田林市の人口推移

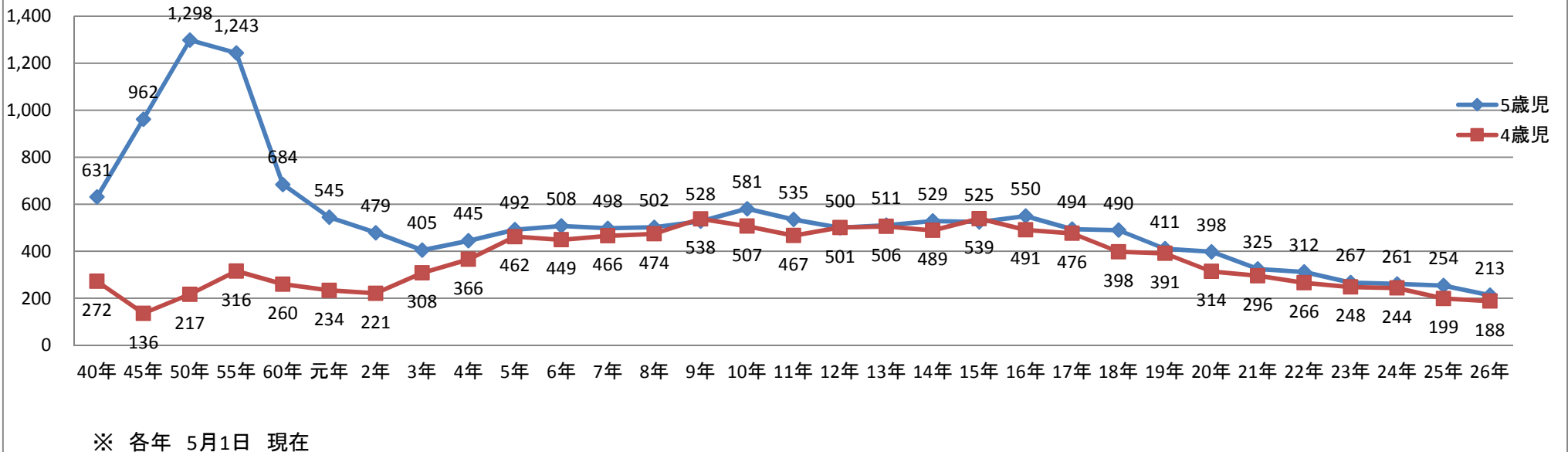


※ 昭和25年～60年、平成7年、12年、17年は国勢調査、これ以外は3月31日 現在

3. 年度別児童生徒数の推移



園児数の推移



4. 幼稚園関係

就園奨励費(公立)

※H26より、こども未来室へ

	H22	H23	H24	H25	H26
人	62	55	49	47	184
金額	2,002,082円	1,841,997円	1,698,666円	1,553,999円	7,826,300円

就園奨励費(私立)

※H26より、こども未来室へ

	H22	H23	H24	H25	H26
人	724	734	681	731	823
金額	75,225,563円	79,926,083円	74,688,849円	84,437,762円	112,218,383円

園児補助金(※H22年度まで:前期+後期、H23年度～:一括)

※H26より、こども未来室へ

	H22	H23	H24	H25	H26
人※	1,189	565	539	546	551
金額※	17,517,000円	17,103,000円	15,668,000円	16,187,000円	16,174,000円

5. 就学援助

就学援助認定者数(要保護+準要保護)

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	1,981	1,952	1,781	1,652	1,623
中学校	1,067	1,128	1,135	1,111	1,042
合計	3,048	3,080	2,916	2,763	2,665

就援率

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	28.9%	29.8%	28.2%	28.0%	28.2%
中学校	29.2%	31.2%	31.3%	32.0%	31.5%
合計	29.0%	30.3%	29.3%	29.5%	29.4%

6. 富田林市奨学金

	H22	H23	H24	H25	H26
支給者(人)	120	114	117	118	118
申請者数(人)	258	239	211	264	261

7. 全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	88.1(81.9)	88.5(88.1)	71.1(73.1)	60.5(61.2)	69.7(70.7)
中学校	73.7(71.7)	69.8(69.0)	65.9(65.1)	75.2(73.3)	80.0(77.0)

全国学力・学習状況調査 国語Bの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	76.9(75.8)	65.4(64.9)	65.2(65.5)	47.0(47.9)	51.6(52.6)
中学校	61.4(60.2)	53.9(53.2)	48.5(47.3)	64.8(63.0)	50.5(47.2)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	76.7(74.7)	62.5(63.4)	63.0(63.6)	76.3(77.1)	78.6(77.3)
中学校	64.6(62.5)	63.2(62.1)	66.7(65.5)	61.0(61.7)	69.4(65.0)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Bの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	47.0(48.1)	50.3(51.2)	41.4(42.9)	56.4(57.3)	57.2(56.3)
中学校	41.6(39.5)	39.6(38.7)	40.8(40.4)	38.9(38.8)	61.5(56.9)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査
「家で学校の宿題をする」

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	96.5(96.8)	94.6(94.3)	94.9(95.6)	95.5(96.3)	95.4(96.3)
中学校	84.4(79.2)	86.1(78.7)	83.4(78.3)	85.3(81.1)	88.3(84.3)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査
「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	75.2(72.4)	68.7(66.4)	72.6(68.8)	77.8(72.8)	75.9(73.0)
中学校	57.3(59.7)	58.0(55.8)	59.3(57.5)	67.5(64.2)	69.7(65.4)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均 ※H23・H24のみ府調査
「人の役に立つ人間になりたい」

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	96.1(92.2)	90.7(89.2)	91.1(90.0)	93.3(92.7)	93.4(93.0)
中学校	90.2(89.9)	88.9(87.7)	88.6(87.9)	92.9(91.4)	93.5(92.4)

8. 小学校、中学校の不登校の状況

(単位:‰ 千分率)

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	3.6	2.7	2.8	4.2	6.6
中学校	34.7	34	34.8	37.6	49.3

9. スクールカウンセラーの相談件数(のべ人数)

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	883	730	683	684	851
中学校	3,576	4,313	5,303	4,598	2,897

10. 教育農園活用(栽培活動実施)状況

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校内	16	16	16	16	16
小学校外	11	11	10	9	10
中学校	8	8	8	8	8

11. 中学校給食 喫食率の推移

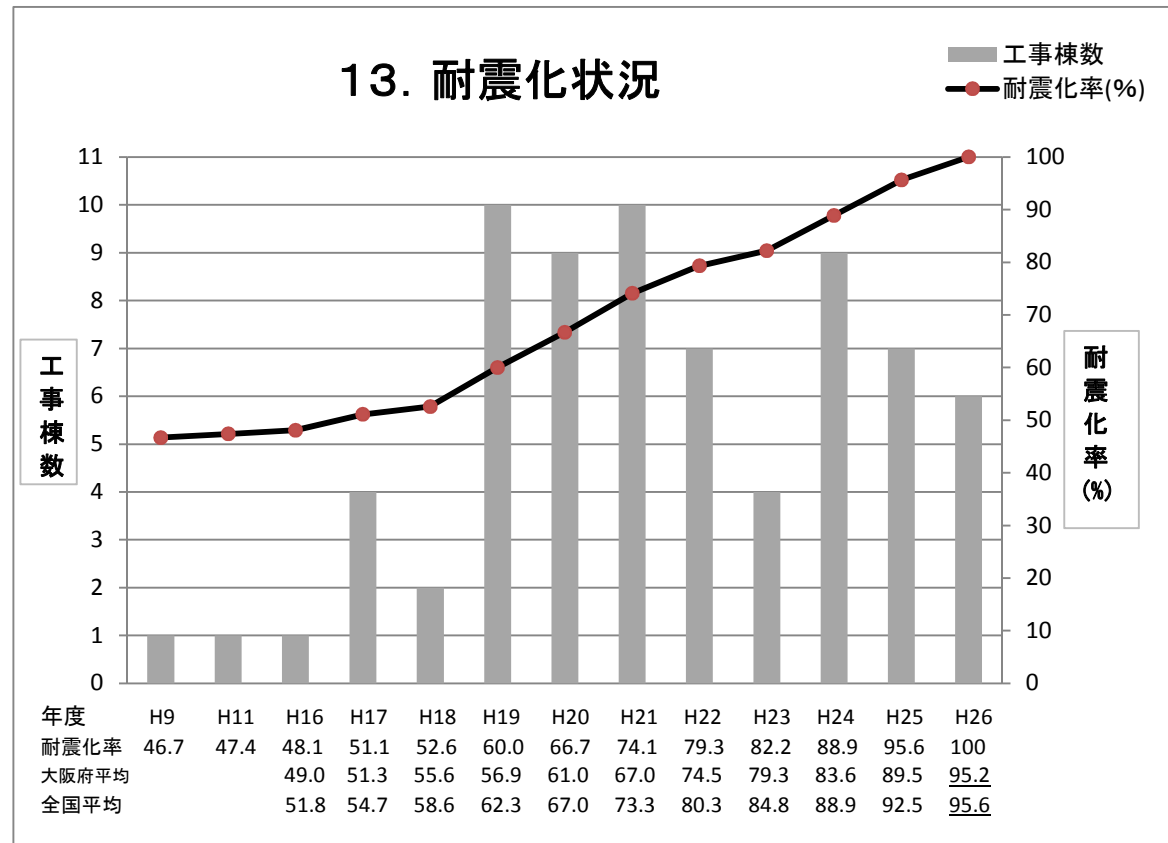
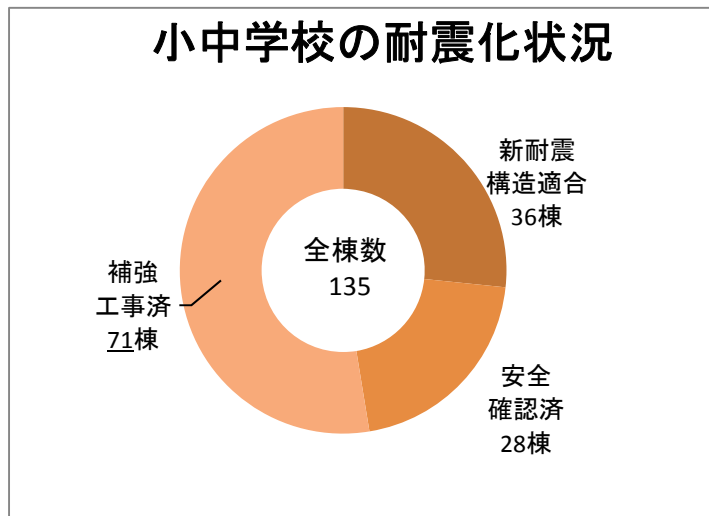
	喫食率(%)					開始時期	H26年度 実施日数 (日)	生徒数(人) (H26年5月1日)
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度			
葛城中学校	52.3	57.5	57.2	57.2	59.3	H19年1月	154	291
明治池中学校	33.5	39.7	45.3	54.2	56.2	H22年1月	146	303
第三中学校	17.4	19.8	26.2	34.6	41.6	H22年1月	142	441
喜志中学校	32.5	32.1	41.7	45.3	51.4	H22年2月	154	467
第二中学校	18.7	20.8	23.6	24.4	26.6	H22年3月	146	524
藤陽中学校	18.8	31.5	37.6	36.2	35.2	H23年1月	145	348
第一中学校	13.3	15.8	18.5	17.5	23.9	H23年2月	140	477
金剛中学校	23.2	32.3	44.1	48.3	51.1	H23年2月	147	457
全 校	27.8	29.3	34.9	37.7	41.8	—	168	3,308

12. 小学校給食 実施状況

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学校数	16	16	16	16	16
年間給食数	1,308,349	1,238,318	1,189,201	1,142,034	1,108,516
一日平均 給食数	7,092	6,749	6,359	6,139	5,991

○公立学校施設等の耐震化状況

	全棟数	新耐震構造適合	安全確認済	補強必要	補強工事済	要補強
小学校	89	21	22	46	46	0
中学校	46	15	6	25	25	0
計	135	36	28	71	71	0



※新耐震構造適合: 昭和56年の建築基準法(施行令)の改正により、現行の新耐震基準が施行されました。新耐震基準の建物は震度6強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能となっています。昭和56年6月1日以降に建築確認を受けた建物に対して新耐震基準が適用されています。

※安全確認棟: 新耐震基準施行以前に建設された建物について、耐震診断した結果、耐震性があると診断された棟数です。国土交通省では安全の目安として、 I_s 値を0.6以上としており、文部科学省では、学校における児童の安全はもとより災害時の避難場所としての機能も加味し、安全の目安を I_s 値0.7以上としています。本市においても、文部科学省の I_s 値0.7を学校における安全の目安としています。

(平成27年4月1日現在)

15. すばるホール施設利用状況

(利用率=利用日数/利用可能日数)

項目	22年度			23年度			24年度			25年度			26年度		
	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数
ホール	129	48.5%	58,200	166	58.1%	68,646	151	54.0%	59,638	145	50.5%	57,414	145	49.1%	49,935
小ホール	257	75.6%	21,181	269	75.7%	25,861	247	76.9%	20,906	349	93.2%	32,572	367	93.5%	28,906
レプションホール	144	54.1%	65,192	159	54.8%	53,024	147	51.3%	43,215	150	52.1%	43,221	140	48.6%	41,017
会議室1	391	87.1%	6,490	385	88.0%	5,987	352	83.8%	5,864	329	79.9%	5,641	338	84.8%	5,272
会議室2	530	86.5%	9,755	579	84.3%	9,376	660	92.1%	11,188	670	91.2%	11,247	679	91.5%	10,145
会議室3	259	71.2%	9,756	263	70.1%	10,231	308	75.6%	11,270	258	69.9%	9,780	220	64.2%	8,254
リハーサル室	444	93.9%	24,723	422	94.8%	26,930	466	93.9%	29,179	504	95.1%	30,700	556	94.2%	30,937
展示室	175	58.8%	28,285	169	56.5%	28,366	164	56.9%	18,275	151	49.3%	14,924	149	48.8%	12,158
美術室(カルチャールーム)	335	76.7%	6,683	323	78.4%	6,245	347	78.2%	6,102	354	78.9%	7,189	307	67.7%	5,747
音楽練習室	466	84.6%	5,440	373	80.5%	4,976	409	86.8%	5,316	368	80.7%	5,219	382	79.4%	5,300
プラネタリウム室	31	10.7%	2,940	26	8.8%	2,081	30	10.0%	2,325	29	9.8%	2,532	25	8.7%	2,123
合計	3,161	68.0%	238,645	3,134	68.2%	241,723	3,281	69.0%	213,278	3,307	68.2%	220,439	3,308	66.4%	199,794

16. 福祉青少年センター利用状況

(利用率=利用件数/利用可能区分数) ※区分=1日4区分、但し日曜日は3区分

項目	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
大会議室	507	44.0%	520	45.8%	542	47.7%	564	49.0%	576	51.0%
多目的室	39	3.0%	37	3.3%	246	21.6%	242	21.0%	257	23.0%
小会議室	418	36.0%	304	26.8%	184	16.2%	319	28.0%	251	22.0%
サークル作業室	150	13.0%	176	15.5%	—	— ※2	—	— ※2	—	— ※2
合計	1,114	24.0%	1,037	22.9%	972	28.5%	1,125	33.0%	1,084	32.0%

※2) サークル作業室は、スポーツ振興課移転に伴い、平成24年3月より閉室。

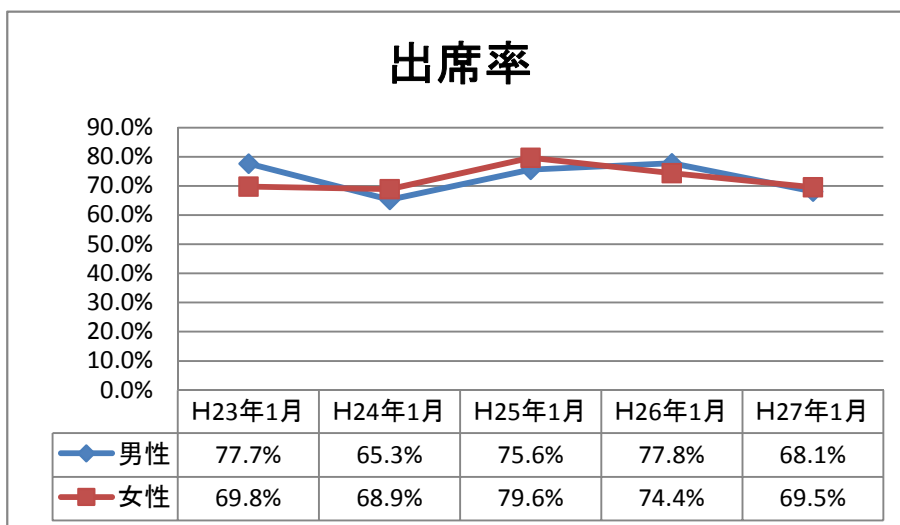
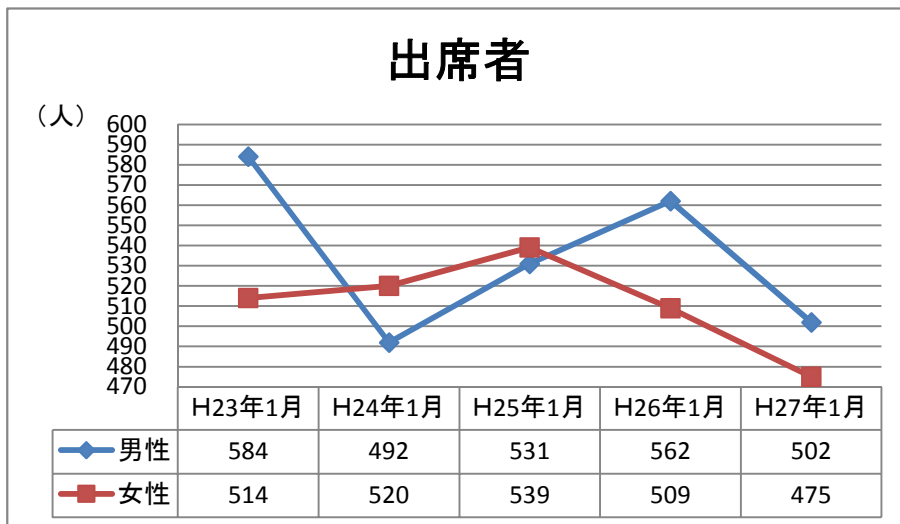
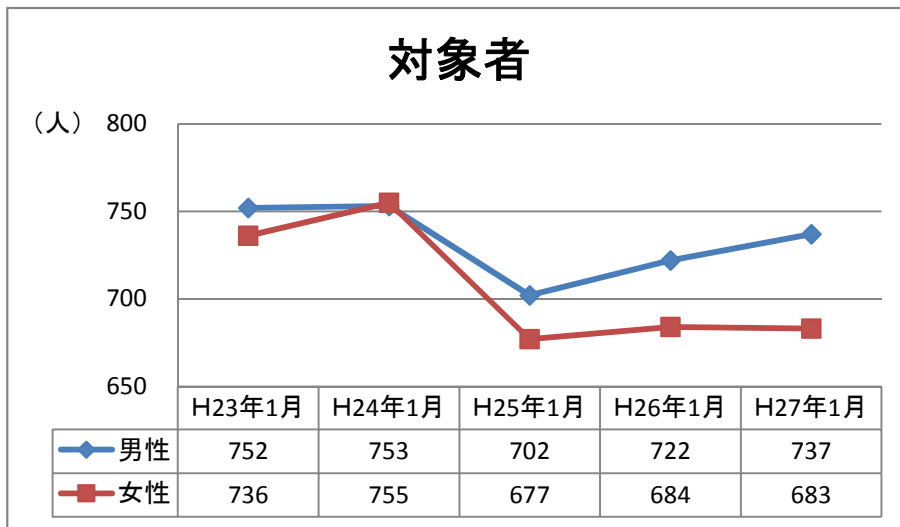
17. 放課後子ども教室 参加状況

		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
富田林	回数	29	30	30	28
	参加児童数	890	752	675	652
	在籍児童数	377	363	334	321
新堂	回数	8	10	9	10
	参加児童数	308	354	233	299
	在籍児童数	617	562	520	508
喜志	回数	8	7	8	10
	参加児童数	284	214	346	317
	在籍児童数	551	520	502	482
大伴	回数	14	15	16	18
	参加児童数	365	505	666	540
	在籍児童数	539	540	516	491
彼方	回数	25	26	22	23
	参加児童数	501	646	561	504
	在籍児童数	394	339	316	285
錦郡	回数	18	17	16	16
	参加児童数	1,060	1,065	1,242	1,467
	在籍児童数	376	374	340	325
川西	回数	22	25	19	21
	参加児童数	1,591	1,408	1,114	1,136
	在籍児童数	567	538	471	431
東条	回数	30	30	28	30
	参加児童数	397	470	469	462
	在籍児童数	127	128	131	129
高辺台	回数	15	15	15	15
	参加児童数	299	546	536	513
	在籍児童数	208	195	182	176
久野喜台	回数	18	18	17	19
	参加児童数	806	965	689	797
	在籍児童数	356	324	312	326
寺池台	回数	16	28	22	25
	参加児童数	700	1,225	871	1,247
	在籍児童数	490	487	476	486
伏山台	回数	16	24	21	22
	参加児童数	528	1,008	1,044	1,123
	在籍児童数	268	275	281	299
喜志西	回数	17	18	18	16
	参加児童数	1,037	860	885	340
	在籍児童数	340	314	322	304
藤沢台	回数	30	29	30	34
	参加児童数	1,205	1,128	1,020	1,163
	在籍児童数	455	449	430	420
小金台	回数	19	18	19	21
	参加児童数	1,105	1,130	1,281	1,235
	在籍児童数	608	554	532	532
向陽台	回数	35	45	51	49
	参加児童数	1,076	1,386	1,183	1,298
	在籍児童数	286	272	234	234
合計	回数	320	355	341	357
	参加児童数	12,152	13,662	12,815	13,093
	在籍児童数	6,559	6,234	5,899	5,749

18. 出前講座 開催状況

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
回数	39	48	64	55	63

19. 成人式 参加状况

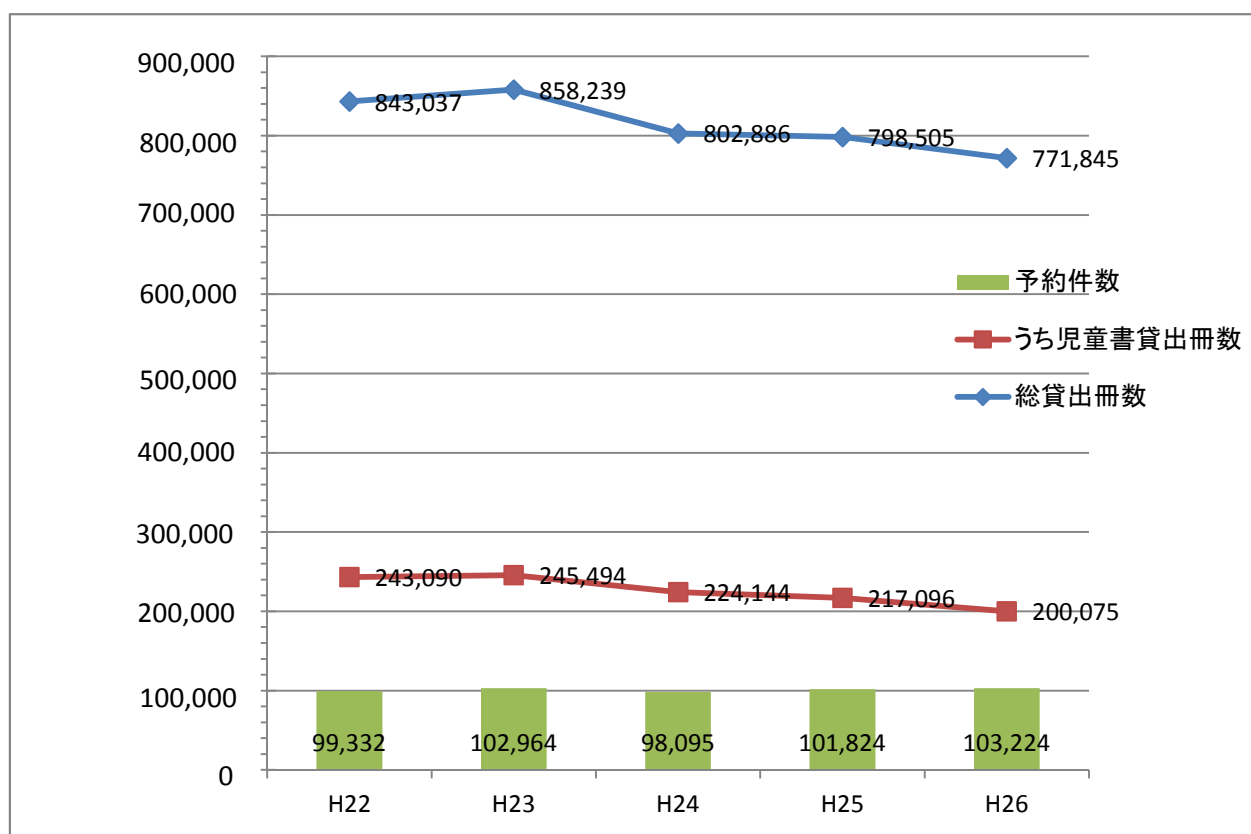


20. 市民文化祭 参加者状況(人)

行 事 名	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
コーラスフェスティバル	450	500	500	500	500
市民美術工芸展	349	333	333	284	258
箏・三絃・尺八演奏会	131	101	104	100	113
民謡大会	100	80	70	80	78
謡曲大会	48	21	30	30	32
詩吟大会	138	155	130	156	105
ミュージック フェスティバル	85	171	135	79	143
茶華道大会	110	87	59	73	55
川柳大会	103	93	111	78	95
市民舞蹈会	154	132	109	114	118
芸能フェスティバル	151	220	125	32	100
ダンスフェスティバル	320	326	360	274	263

21. 図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
H22	188,820	843,037	243,090	99,332	563	843
H23	193,700	858,239	245,494	102,964	408	809
H24	192,295	802,886	224,144	98,095	427	793
H25	221,116	798,505	217,096	101,824	250	700
H26	219,750	771,845	200,075	103,224	46	735



22. 公民館利用状況等

項 目		H22	H23	H24	H25	H26	
中央公民館	1	主催講座延べ開催数	253	229	185	203	240
	2	主催講座学習者数(人)	2,568	3,026	3,560	2,832	3,653
	3	イベントその他の事業延べ開催数	14	25	19	16	17
	4	公民館クラブ数	59	56	53	53	48
	5	公民館クラブ員数	1,070	997	948	940	875
	6	年間施設利用件数	3,142	2,992	2,389	2,353	2,467
	7	年間施設利用者数	46,805	42,075	33,095	33,058	35,232
	8	施設年間平均稼働率(%)	54	52	45	42	43
東公民館	1	主催講座延べ開催数	84	76	80	77	71
	2	主催講座学習者数(人)	1,177	1,089	1,193	1,461	1,152
	3	イベントその他の事業延べ開催数	5	15	12	12	15
	4	公民館クラブ数	38	35	38	38	37
	5	公民館クラブ員数	516	486	516	536	521
	6	年間施設利用件数	1,501	1,687	1,768	1,707	1,621
	7	年間施設利用者数	21,427	22,162	23,795	24,173	22,918
	8	施設年間平均稼働率(%)	39	38	34	39	36
金剛公民館	1	主催講座延べ開催数	96	85	84	67	77
	2	主催講座学習者数(人)	1,398	1,440	1,423	1,306	1,680
	3	イベントその他の事業延べ開催数	4	17	19	19	18
	4	公民館クラブ数	51	52	53	52	56
	5	公民館クラブ員数	907	920	941	853	870
	6	年間施設利用件数	3,099	3,095	2,994	2,830	2,969
	7	年間施設利用者数	43,625	43,158	41,571	40,407	39,039
	8	施設年間平均稼働率(%)	54	54	51	52	48

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

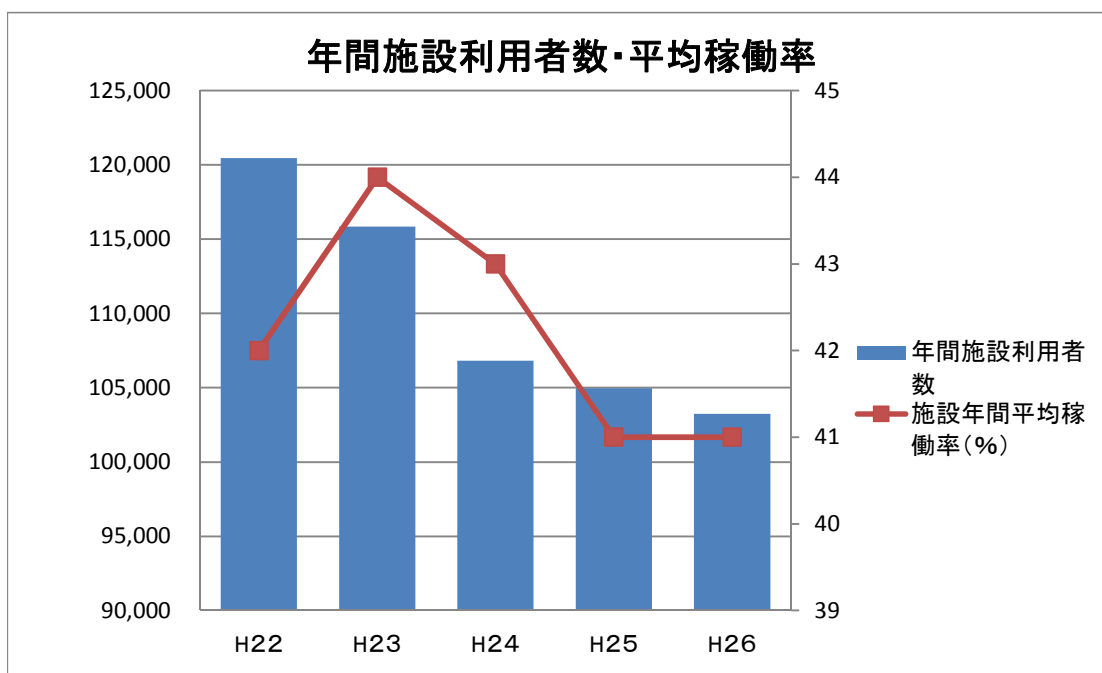
※利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

		項 目	H22	H23	H24	H25	H26
喜志分館	1	年間施設利用件数	815	762	758	684	549
	2	年間施設利用者数	8,594	8,444	8,365	7,336	6,043
	3	施設年間平均稼働率(%)	34	32	31	30	23
総 合 計	1	主催講座延べ開催数	433	390	349	347	388
	2	主催講座学習者数(人)	5,143	5,555	6,176	5,599	6,468
	3	イベントその他の事業延べ開催数	23	57	50	47	50
	4	公民館クラブ数	148	143	144	143	141
	5	公民館クラブ員数	2,493	2,403	2,405	2,329	2,266
	6	年間施設利用件数	8,557	8,536	7,909	7,574	7,606
	7	年間施設利用者数	120,451	115,839	106,826	104,974	103,232
	8	施設年間平均稼働率(%)	42	44	43	41	41

(稼働率=年間利用件数/年間利用可能区分)

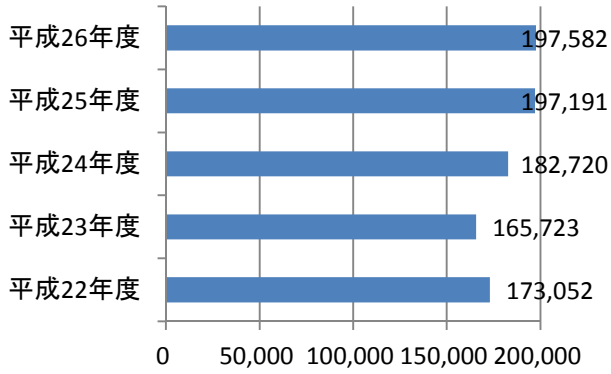
利用区分=1日3区分、但し日曜日は2区分)

※東・金剛ホールは平日4区分

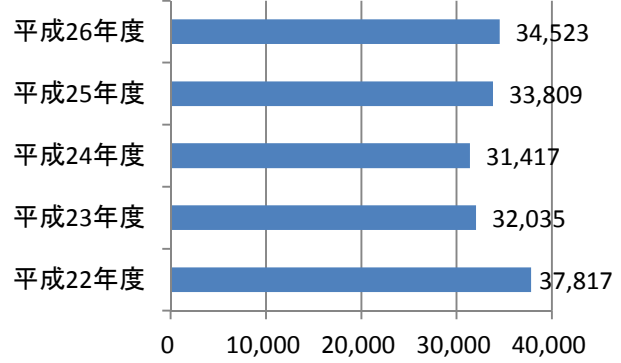


23. スポーツ施設利用状況

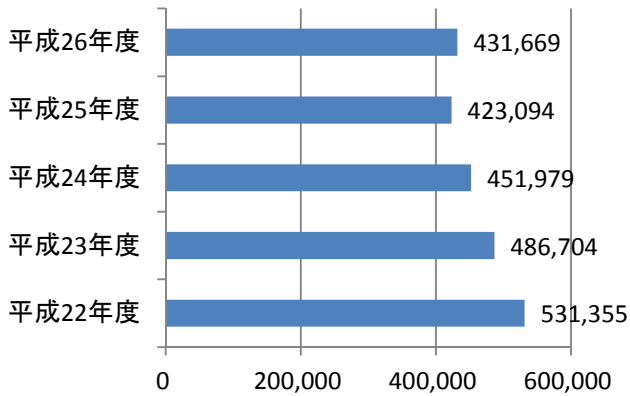
市民総合体育館
利用人数



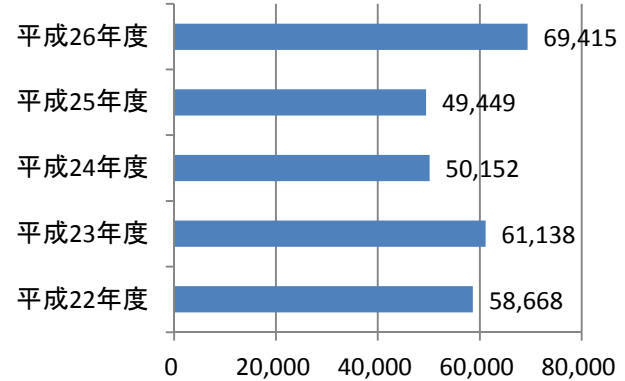
青少年スポーツホール
利用人数



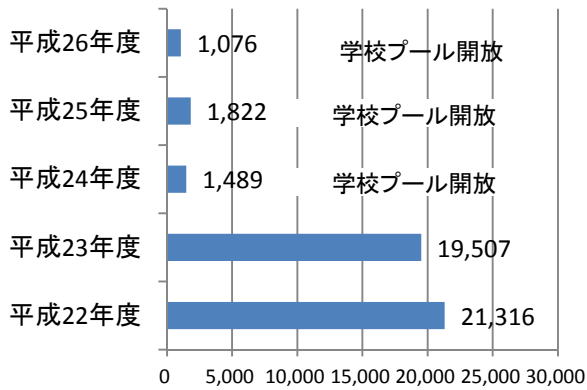
グラウンド 利用人数



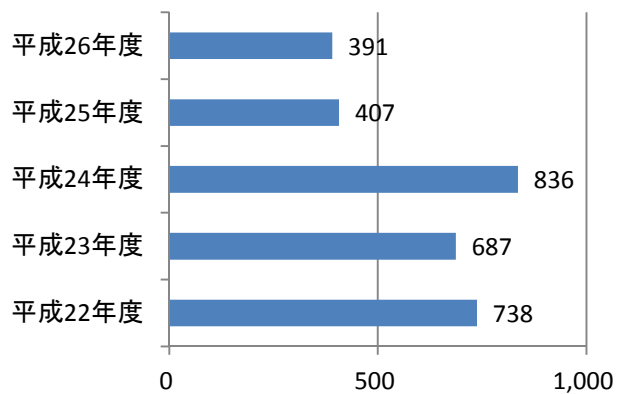
テニスコート
利用人数



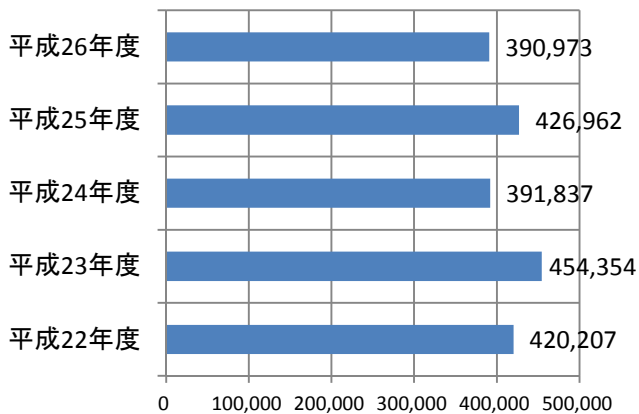
市営プール
利用人数



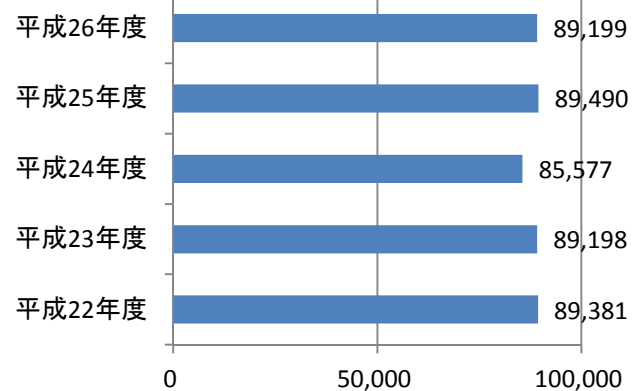
青少年教育キャンプ場
利用人数



学校体育施設 利用人数

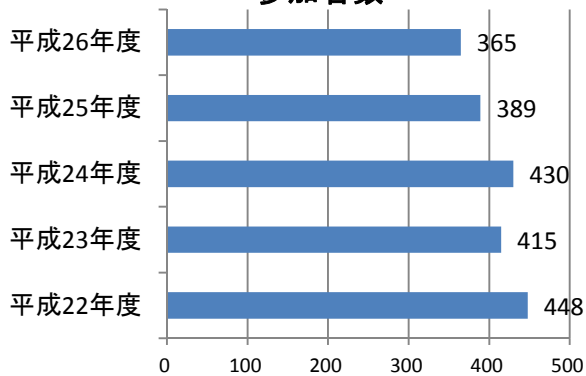


総合スポーツ公園
利用人数

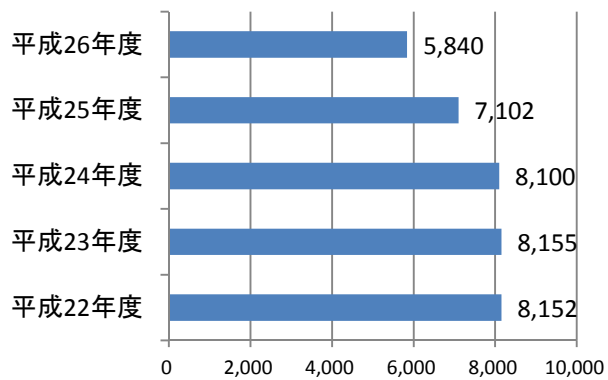


24. スポーツ事業参加状況

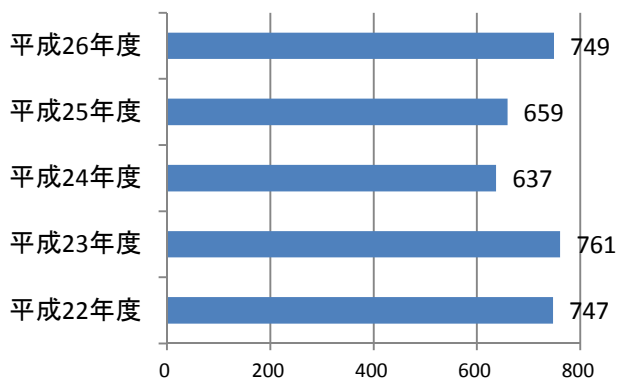
スポーツ教室
参加者数



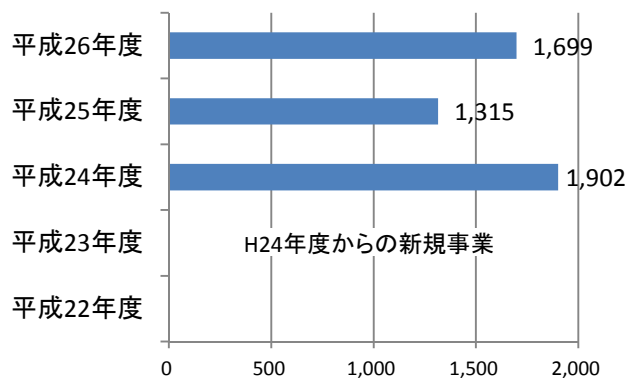
夏休みラジオ体操教室
参加者数



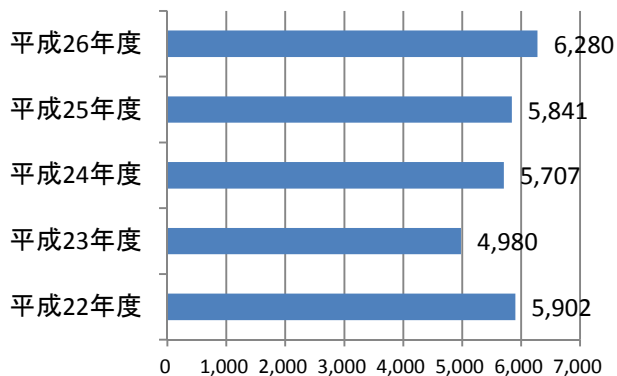
ジュニア・スポーツリーダー・
スクール参加者数



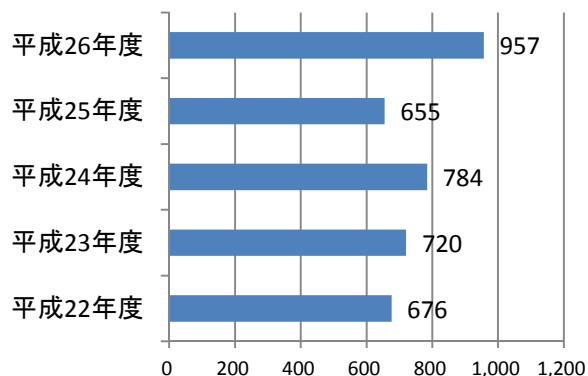
ドリームフェスティバル
参加者数



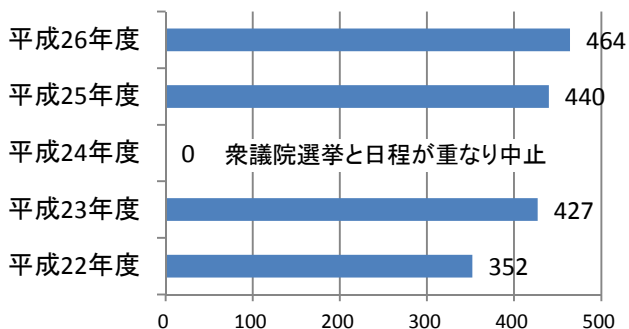
市民体育大会
参加者数



スポーツ・レクリエーション祭
参加者数



市民マラソン大会
参加者数



25. 施設入館者推移

単位:名

施設名	22	23	24	25	26
重要文化財 旧杉山家住宅	9,944	9,869	11,843	9,326	10,973
寺内町センター	1,783	1,936	1,930	1,248	1,547
じないまち交流館	24,719	23,352	33,006	31,493	34,061
旧田中家住宅	—	—	5,728	9,688	7,902

26. 寺内町地区の修理・修景実績推移 単位:件

事業名	22	23	24	25	26
富田林伝統的建造物群 保存地区保存事業	5	1	3	4	3
街なみ環境整備事業	4	3	1	0	0

(平成27年4月1日現在)

27. 市内の文化財

国指定(選定)文化財	種類	種別	名称	指定年月日	所在地
	有形文化財	重要文化財	建造物	にしごおり じんしゃほんでん 錦織神社本殿	昭25. 8.29
せつしゃかすが しゃほんでん (錦織神社)撰社春日社本殿				昭44. 6.20	〃
せつしゃてんじんしゃほんでん (錦織神社)撰社天神社本殿					
りゅうせんじ におうもん 龍泉寺仁王門				昭36. 3.23	大字龍泉888
記念物	史跡名勝天然記念物(名勝)	美術工芸品	きゅうすぎやま け じゅうたく 旧杉山家住宅	昭58.12.26	富田林町14-31
			とんだばやしこうしょうじ べついんほんどう たいめんしよ しょうろう 富田林興正寺別院本堂・対面所・鐘楼		
			ころう さんもん おなりもん ・鼓楼・山門・御成門	平成26.9.18	富田林町13-18
			つけたりついでい へい むね 附 築地塀3棟		
記念物	重要美術品(旧法)	史跡名勝天然記念物(史跡)	たきだにふ どうみょうおうじ もくぞう ふ どうみょうおう 瀧谷不動明王寺 木造不動明王 及	昭31. 6.28	大字彼方1762
			どう じりつぞう 二童子立像		
			りゅうせんじ ていえん 龍泉寺庭園	昭56. 5.11	大字龍泉888
伝統的建造物群	(選定)重要伝統的建造物群保存地区	史跡名勝天然記念物(史跡)	じゅうさんじゅう ぞうとう 十三重層塔	昭10. 5.20	東板持町二丁目2-17内
			しんどう はい じ あと つけたり いけかわら がまあと かめ いし 新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡・お亀石	平14.12.19	緑ヶ丘町 大字中野
			とんだ ばやし とんだばやしじゅうようでんとうてき 富田林市富田林重要伝統的	平 9.10.31	富田林町の一部
			けんぞうぶつぐん ほんぞん ちく 建造物群保存地区		

国登録有形文化財	指定種別	名称	登録年月日	所在地
	建造物	建造物	くずはら けしゅうたく みなみずはら べつてい しゅうおく ぞうこ 葛原家住宅(南葛原 別邸) 主屋・倉庫	平10. 4.21
すぎた けしゅうたく しゅうおく くら 杉田家住宅 主屋・蔵			平12.12. 4	本町5-13
なかうちがん か い いん 中内眼科医院			平13. 4.24	富田林町21-28
とんだばやし しりつかわにししやうがっこう きやういれきまし しりやう しつ 富田林市立川西小学校 教育歴史資料室			平13.11.20	新家一丁目3-1
いわけ じゅうたく しゅうおく おくざしき さかぐら 岩根家住宅 主屋・奥座敷・酒蔵			平20. 4.18	五軒家2-1525-1
とうか じゅうほんかん きやうしつ 桃花塾 本館・教室棟			平21. 4.28	大字喜志2067-5他
きゅうたなかけ じゅうたく しゅうおく いぬいぐら 旧田中家住宅 主屋・乾蔵			平25. 6.21	本町423-4

大阪府指定文化財	指定種別	名称	指定年月日	所在地
	彫刻	彫刻	りゅうせんじ もく ぞうこんごうりき しぞう にたい 龍泉寺木造金剛力士像二躰	昭49. 3.29
りゅうせんじ もく ぞう しやうとく たい しりつぞう ほか 龍泉寺木造聖徳太子立像他			昭51. 3.31	〃
じやうこくじ せきぞう じ ぞう ぼ さつりつぞう 浄谷寺石造地藏菩薩立像			昭45. 2.20	富田林町7-12
史跡	史跡	に ころてい 水郡邸	昭48. 3.29	甲田二丁目5-31
		ひがしやうや かいどうにしごおりいちりづか 東高野街道錦織一里塚	昭45. 2.20	錦織東三丁目7-1 錦織東三丁目8-2
		つづやま こふんおよ に ほんまつこ ふん 甘山古墳及び二本松古墳	平11. 2. 5	大字甘山20-33. 他
工芸品	工芸品	たきだに ふどう みょうおうじ こんどうほうしゅ れい 瀧谷不動明王寺金銅宝珠鈴	昭56. 6. 1	大字彼方1762
建造物	建造物	なかわら けしゅうたく 仲村家住宅	平 2. 3. 2	富田林町16-31
有形民俗	有形民俗	さいごく じゅうんれいさんじゅうさんど きやうじやかんけい しりやう 西国巡礼三十三度行者関係資料	平 7.12.13	富田林町 7-12 (浄谷寺)
		さいごく じゅうんれいさんじゅうさんど きやうじやかんけい しりやう 西国巡礼三十三度行者関係資料	平10. 2. 4	嬉 (嬉共有)
		うれしくみ 7点 (嬉組)		